学校法人　岩手医科大学

平成26年度

事業報告書

2017年　創立120周年
誠のあゆみ、未来へつなぐ

目　　次

Ⅰ　法人の概要

１．建学の精神 …… 1
２．法人の沿革 …… 2
３．設置する学校 …… 2
４．入学定員・収容定員 …… 3
５．理事会・評議員会の開催状況 …… 3
６．役員等の概要 …… 3
７．諸規程の主な改正等 …… 4
８．主な事業の概要 …… 6
９．主な行事等 …… 13
10．土地の増減 …… 15
11．建物等の増減 …… 15
12．国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等 …… 16
13．取得した主な機器備品 …… 18

Ⅱ　人事の概要

１．主な役職人事 …… 19
２．主な教職員人事 …… 19
３．職員総数 …… 19

Ⅲ　学事の概要

１．入学者、卒業（修了）者数 …… 20
２．学位授与者数 …… 20
３．文部科学省科学研究費助成事業 …… 20
４．厚生労働科学研究費補助金 …… 21
５．その他の補助金等 …… 21
６．解剖体慰霊祭および解剖体数 …… 21
７．白寿会員数 …… 21
８．海外出張者数 …… 21
９．国家試験成績 …… 21

Ⅳ　附属病院の概要

１．患者数 …… 22
２．救急患者取扱件数 …… 22
３．分娩件数 …… 22
４．手術件数および死亡者数 …… 22
５．アイバンク登録者数 …… 22

Ⅴ　財務の概要

１．消費収支 …… 23
２．資本収支 …… 25
　平成26年度消費収支計算書 …… 26
　平成26年度資金収支計算書 …… 27
　貸借対照表 …… 28
　医療収入内訳 …… 29
　決算構成比率 …… 30
３．経年比較 …… 31

Ⅰ　法人の概要

1．建学の精神

本学の目的は、医学教育、歯学教育及び薬学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、充分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。【岩手医科大学学則　第1章・第1条】

西欧化の荒波が押し寄せる中、明治新政府の医療施策は定まらず、岩手県では医療機関が長期に亘り途絶える等、県民の医療は困窮を極めていました。これを憂いた三田俊次郎は、私財を投じて私立岩手病院を設立、同時に医師、看護婦、産婆の養成に努めました。自らは勤倹力行に徹する一方、幾多の社会福祉事業、育英事業を興し、生涯を弱者救済と人材育成に捧げました。

俊次郎の限りない人類愛を受け継ぎ、岩手医学専門学校第2代校長となった定則は、戦後の学制改革に際し陣頭指揮を執って大学昇格を果たし、初代学長に就任しました。温厚にして飾らず、誰に対しても敬と愛をもって接した定則は「医師たらんとする者は先ず人間であらねばならぬ」を持論とし、人類の理想に「誠」を掲げました。

俊次郎と定則の精神は、私立学校法改正に伴う学校法人岩手医科大学への組織変更に際し、新制岩手医科大学学則に高らかに謳われ、今日まで脈々と受け継がれています。

２．法人の沿革

明治30年　私立岩手病院開院
　　医学講習所・産婆看護婦養成所併設
明治34年　私立岩手医学校設立認可
大正15年　岩手病院診療棟（現一号館）竣工
昭和３年　財団法人岩手医学専門学校設立認可
昭和22年　財団法人岩手医科大学に組織変更
昭和23年　医学部医学科開設
昭和26年　学校法人岩手医科大学に組織変更
昭和27年　新制岩手医科大学発足
昭和30年　医学進学課程設置
昭和35年　大学院医学研究科設置認可（博士課程）
昭和40年　歯学部、教養部開設
昭和41年　岩手歯科技工士学校開設
　　［現 岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科］
昭和42年　歯学部附属病院開院
昭和47年　記念図書館竣工
昭和55年　岩手県と共同で岩手県高次救急センター開設
　　［現 岩手県高度救命救急センター］
昭和58年　大学院歯学研究科設置認可（博士課程）
平成２年　サイクロトロンセンター開設
平成５年　附属花巻温泉病院開院
平成６年　岩手医科大学附属病院に特定機能病院の承認
平成９年　創立六十周年記念館竣工
　　附属循環器医療センター開院
平成12年　超高磁場 MRI 研究施設竣工
　　木の花会館竣工
平成16年　岩手医科大学歯科衛生専門学校開校
　　大学院医学研究科設置認可（修士課程）
平成17年　附属病院に歯科医療センターを開設
　　（歯学部附属病院を統合）
平成18年　薬学部薬学科設置認可
平成19年　矢巾キャンパス第一次事業竣工
　　薬学部・共通教育センター開設
平成21年　附属病院に循環器医療センターを開設
　　（附属循環器医療センターを統合）
平成22年　超高磁場先端 MRI 研究所竣工
　　附属 PET・リニアック先端医療センター開設
平成23年　矢巾キャンパス第二次事業竣工
　　医学部・歯学部基礎講座統合
　　共同研究部門を医歯薬総合研究所に改組
　　岩手医科大学医療専門学校へ名称変更
　　（歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校を統合）
平成24年　附属病院ドクターヘリ基地ヘリポート竣工
　　大学院薬学研究科設置認可
平成25年　災害時地域医療支援教育センター・
　　マルチメディア教育研究棟竣工
平成26年　共通教育センターを全学教育推進機構に改組

３．設置する学校

（１）　岩手医科大学

大学院	医学研究科	医学部	医学科
	歯学研究科	歯学部	歯学科
	薬学研究科	薬学部	薬学科

（２）　岩手医科大学医療専門学校

歯科衛生専門課程（3 年制）　　歯科技工専門課程（2 年制）

4．入学定員・収容定員

（1）岩手医科大学

大学院	医学研究科	博士課程	入学定員	50 名	収容定員	200 名
		修士課程	入学定員	10 名	収容定員	20 名
	歯学研究科	博士課程	入学定員	18 名	収容定員	72 名
	薬学研究科	博士課程	入学定員	3 名	収容定員	12 名
		修士課程	入学定員	3 名	収容定員	6 名
医学部	医　学　科		入学定員	123 名		
			編入学定員	7 名	収容定員	745 名
歯学部	歯　学　科		入学定員	73 名	収容定員	451 名
薬学部	薬　学　科		入学定員	160 名	収容定員	960 名

（2）岩手医科大学医療専門学校

歯科衛生専門課程	入学定員	40 名	収容定員	120 名
歯科技工専門課程	入学定員	25 名	収容定員	50 名

5．理事会・評議員会の開催状況

理事会は定例を 11 回、臨時を 1 回、評議員会は定例を 2 回、臨時を 1 回開催しました。

6．役員等の概要

（1）役員等の定員数、現員数、氏名等　（平成 27 年 3 月 31 日現在）

①理　事

定員数：7 人以上 13 人以内　現員数：9 人

区　分	氏　名	常勤・非常勤
理事長	小　川　　彰	常　勤
理　事	祖父江　憲　治	常　勤
理　事	三　田　ひろみ	非常勤
理　事	三　田　義　之	非常勤
理　事	高　橋　真　裕	非常勤
理　事	小　林　誠一郎	常　勤
理　事	三　浦　廣　行	常　勤
理　事	前　田　正　知	常　勤
理　事	酒　井　明　夫	常　勤

②監　事

定員数：2 人以上 3 人以内　現員数：2 人

氏　名	常勤・非常勤
小野寺　　勲	非常勤
池　田　克　典	非常勤

③評議員

定員数：27 人以上 38 人以内　現員数：32 人

（２）役員等の異動

①理　事

（再任）　祖父江憲治　　（寄附行為第７条第１項第２号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（再任）　三田ひろみ　　（寄附行為第７条第１項第３号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（再任）　三田　義之　　（寄附行為第７条第１項第３号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（新任）　高橋　真裕　　（寄附行為第７条第１項第５号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（再任）　小林誠一郎　　（寄附行為第７条第１項第５号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（再任）　三浦　廣行　　（寄附行為第７条第１項第５号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（再任）　前田　正知　　（寄附行為第７条第１項第５号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（再任）　酒井　明夫　　（寄附行為第７条第１項第５号理事　平成 27 年２月 23 日付）
（退任）　畑山　尚三　　（寄附行為第７条第１項第５号理事　平成 27 年２月 22 日付）

②評議員

（新任）　高橋　真裕（寄附行為第 19 条第２項第５号評議員　平成 27 年２月 23 日付）
（辞任）　畑山　尚三（寄附行為第 19 条第２項第５号評議員　平成 27 年２月 22 日付）

７．諸規程の主な改正等

（１）総合移転整備計画策定委員会規程の廃止及び創立120周記念事業実行委員会規程の制定

（平成26年4月28日制定、平成26年5月1日施行）

創立120周年記念事業の推進組織として、現行の総合移転整備計画策定委員会を発展的に改組し、創立120周年記念事業実行委員会を設置することとして、総合移転整備計画策定委員会規程を廃止し、創立120周年記念事業実行委員会規程を制定

（２）組織規程の一部改正（平成26年4月28日改正、平成26年4月1日施行）

高度看護研修センターにおいて育成する人材の多様化と専門性の確保を目的として組織体制の強化を図ること、センター長及び副センター長の選任方法について、他組織との整合性を図るとともに機動性の向上を目的に、任命権者を学長に委譲することに伴う一部改正

（３）教育職員の定員に関する規程及び組織規程の一部改正（平成26年5月26日改正、平成26年6月1日施行）

６年制薬学教育を更に充実させるため、地域医療の推進と学部教育の連携を担うことを目的として、薬学部に地域医療薬学科を設置すること、定員は分子細胞薬理学講座の教授定員のうち1名を充てること、これに合わせて薬学部長付の助教を廃止し分子細胞薬理学講座に充てたいこと、実務家教員枠を廃止し薬学部定員内に置くこととして、文言整理を含め一部改正

（４）組織規程の一部改正（平成26年5月26日改正、平成26年7月1日施行）

創立120周年記念事業の実施に伴い、同実行委員会事務局を設置することに伴う一部改正

（５）創立120周年記念事業実行委員会規程、組織規程及び就業規則の一部改正

（平成26年6月30日改正、平成26年5月1日及び7月1日施行）

創立120周年記念事業を進めるにあたり、総合移転整備計画策定委員会を発展的に改組し、創立120周年記念事業実行委員会を設置して運用体制の整備を図ったが、岩手看護短期大学の移管を受入れ、これを母体とした看護学部を設置する方針が決定したことから、同事業を創立120周年記念事業に位置付け、円滑な組織運営を可能とするため、創立120周年記念事業実行委員会規程を一部改正、総合移転整備計画策定委員会の改組に伴い、創立120周年記念事業実行委員会を学校法人組織機構図に位置付け、事業の円滑な事務を行うため、事業推進部を企画部に統合し、看護学部設置準備事務室を新設することとして組織規程を一部改正、創立年の変更に伴い、開学記念日を4月20日に変更するため、就業規則を一部改正

（６）教育職員の定員に関する規程及び組織規程の一部改正（平成26年7月28日改正、平成26年8月1日施行）

がん薬物療法の進歩は目覚しく、本学附属病院においても外来化学療法室を設置し治療に当たってきたが、患者数の増加は今後も継続すると見込まれる一方で、外来化学療法室に専任の医師が配置されていないことから、がん薬物療法の効率的な運用・拡充並びに安全性の向上と臨床研究・教育の発展のため、専任の医師を配置しチーム医療を推進、各科の横断的取組の核となる部署として腫瘍内科学科を設置するための一部改正

（７）組織規程の一部改正（平成26年7月28日改正、平成26年10月1日施行）

診療報酬改定により、診療報酬算定上も医療機関及び介護との連携推進が図られた上、附属病院移転に向けた財源確保の観点からも紹介患者の増加に努めるため、他の機関との連携強化が必要なことから、患者紹介率並びに病床稼働率及び患者サービスの向上、医療従事者の業務負担軽減と効率化を目的に、地域医療連携センターを設置することに伴う一部改正

（８）大学院学則の一部改正（平成26年10月27日改正、平成27年4月1日施行）

大学院入学者の増加を図り、岩手県内に残り、研究並びに地域医療に従事する医療人の養成に寄与するため、大学院入学金を廃止し、学生の金銭的負担を軽減することに伴う一部改正

（９）教育職員の定員に関する規程の一部改正（平成26年11月25日改正、平成27年4月1日施行）

学部教育において重要となる行動科学コースを充実させるため、教養教育センター人間科学科心理学分野を心理学・行動科学分野に改称することに伴う一部改正

(10) 経理規程及び減価償却に関する内規の一部改正（平成26年12月22日改正、平成27年4月1日施行）

学校法人会計基準の改正及び文言整理に伴う一部改正

(11) 組織規程の一部改正（平成27年1月26日改正、平成27年4月1日施行）

平成26年1月10日付厚生労働省健康局長通知「がん診療連携拠点病院等の整備に関する新指針」により、平成28年3月までに都道府県がん診療連携拠点病院への緩和ケアセンター整備が義務付けられたことに伴い、診断から迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するため、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟等を有機的に統合する緩和ケアセンターを新設することに伴う一部改正

（12）奨学金規程の一部改正（平成27年2月23日改正、平成27年4月1日施行）

歯学部学業奨励奨学金規程、薬学部学業奨励奨学金規程、薬学部育英奨学金規程、薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程及び大学院奨学規程について、議決機関、奨学生の選考方法及び給付方法の変更並びに文言整理に伴う一部改正

（13）組織規程の一部改正（平成27年3月30日改正、平成27年4月1日施行）

学校教育法の改正に対応して、副学長の職務を規定すること、キャリア支援センターの副センター長の必置制を改めること、医歯薬総合研究所の研究支援施設の業務の集約化及び合理化のためにバイオイメージングセンターと生命科学技術研究センターを統合し、生命科学研究技術支援センターとすることに伴う一部改正

（14）学納金減免規程の一部改正（平成27年3月30日改正、平成27年4月1日施行）

学内組織改編による議決機関の変更、専任職員の規定並びに文言整理に伴う一部改正

（15）公益通報者の保護等に関する規程の一部改正（平成27年3月30日改正、平成27年4月1日施行）

平成27年4月より文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」が適用されることに伴う一部改正

（16）職員就業規則の一部改正（平成27年3月30日改正、平成27年4月1日施行）

採用時の提出書類の見直し、解雇要件及び服務心得の追加、出張条文の文言整理と研修に係る条文の追加、懲戒事由の追加、厚生委員会関連条文の削除に伴う一部改正

（17）教育職員の定員に関する規程の一部改正（平成27年3月30日改正、平成27年4月1日施行）

定員の定義の見直し及び文言整理、大学のガバナンス改革に基づく定員の配分方法及び規程の改廃方法を変更するための一部改正

8．主な事業の概要

（1）創立 120 周年記念事業の実施

記念ロゴマークとスローガン

本法人の創立年は、これまで昭和 3 年の岩手医学専門学校設立認可をもってあててきましたが、明治 30 年 4 月 20 日に私立岩手病院を開設した際に医学講習所が併置され、医師養成にあたったことが確認されたことから、明治 30 年に創立年を改めました。平成 31 年の矢巾新附属病院開院を目前に控えた平成 29 年は 120 年の節目にあたることから、先人の偉業を讃えるとともに、本学の新たな歴史開拓に向けた飛躍の年と位置付け、創立 120 周年記念事業を実施することといたしました。

平成 26 年度は、記念ロゴマーク・スローガンの制定、カウントダウンモニュメント・バナーフラッグ等の作成、募金活動を開始しました。

（２）附属病院移転及び内丸メディカルセンター（仮称）整備計画の推進

矢巾新病院建設に係る附属病院移転事業については、基本設計の枠組みを固めるとともに、昨今の物価高騰との関連の中で、事業内容の精査や資金計画との調整を図りながら、実施設計に向けた取組みを推進しました。また、内丸メディカルセンター（仮称）整備事業については、病院跡地を含めた将来的な市中心部のまちづくりの考え方や、その重要性を念頭に置き、今後、岩手県や盛岡市、商工会議所とも協力し、官民一体となってより良い計画の策定に向けた協議を行っていくこととしました。

矢巾新附属病院の完成イメージ

（３）附属病院移転用地に係る土地造成工事の推進

附属病院移転用地に係る造成工事については、第二工区部分の工事を平成 26 年 10 月に着工し、翌年度の工事完成に向けた取組みを推進しました。

（４）新病院エネルギーセンター先行整備計画の推進

新病院に先行して整備するエネルギーセンター棟については、設計作業を終え、平成 26 年 11 月に着工し、平成 28 年 3 月の建物完成に向けた工事を開始しました。また、スマートエネルギーシステム導入促進補助事業（新エネルギー導入促進協議会）として行う同センターの設備関連整備については、設置コストや自然エネルギーの有効利用の観点から、一部地中熱利用システムの設計見直しを行うとともに、平成 28 年 1 月の補助事業完了に向け、設備関連工事の発注を行いました。

（５）県立療育センター及び県立盛岡となん支援学校の施設整備に係る推進

岩手県からの取組要請に基づき、附属病院移転用地内に整備が決定している両施設については、平成 27 年度の建設工事着手に向け、施設整備に係る諸条件等、継続して県との協議を行いました。

（６）日赤岩手乳児院及び日赤岩手県支部の敷地取得に向けた取組

内丸メディカルセンター（仮称）整備に向けて、日赤岩手乳児院及び日赤岩手県支部の敷地を取得するため、平成 26 年 4 月に土地売買契約を締結、平成 27 年 3 月に土地の所有権移転登記を完了し取得に至りました。

（７）医療系総合大学としての教育改善

学部間で個別に行われてきた専門教育を、大学の設立理念に沿って全学部で統一性をとったものに変えて、物的および人的教育資産の効率的運用をするため、全学教育推進機構がつくられました。準備教育とリベラルアーツを取り扱う教養教育センターは全学教育推進機構の下に位置づけられます。同センターは、主に初年次教育にあたってきましたが、それに加えて低学年から高学年まで段階的に施行する PBL（課題解決型学習）、多職種連携教育および行動科学の運営に主体的にかかわっております。また、全学教育推進機構は、各学部の教務委員会の情報共有の場としてだけではなく、3 つのポリシーの制定、カリキュラムマップの作成、学長裁量経費による教育改革支援制度の策定、能動学

修に必要な教育機器整備、実験実習機器の効率的購入および IR（学生情報一元化収集・解析）整備事業を行いました。

①医学部

JACME（日本医学教育認証評議会）による分野別認証評価に備えて、臨床実習の充実化に向けてカリキュラムの改変作業を進めています。具体的には、臨床現場での学修が円滑に行われるように到達目標とプロセスを明確にした実習指針の策定と、座学講義時間の削減、および専門科目の前倒しです。医療人としての態度・技能の向上を図る一方、認知領域を問う CBT（共用試験実施評価機構による試験）や医師国家試験の成績向上にむけて、学体系に沿った通常の講義に加え、コアカリキュラムに準じた演習や国家試験出題基準を意識した領域別重点学習を行いました。あわせて医師国家試験予備校の講師を客員教授として迎え、学生への解説講義とともに、教員向けの FD を実施しました。低学年から高学年にわたって、ゼミ、ラボ配属、担任制、およびチューター制度を設けて、個々の学生に対するきめ細やかな指導に努めました。その結果、態度技能に優れた学生を卒業させることができ、国家試験合格率も昨年度同様 9 割を維持することができました。

②歯学部

歯学部改革プロジェクトにより整備された学生自習室を有効活用し、Society 制度、チューター制度、ディレクター(科目責任者)制度の下、担当チューターによる学生個人カルテに基づいたきめ細やかな学習方法等の指導を実践しました。ハーバード大学歯学部との提携制度を利用し、勉学意欲の高い学生をボストンに派遣することができたことは、学生の向上心を刺激する上で大いに役立ちました。更には、歯科医療センター内に整備した先進総合歯科外来において学生がより多くの臨床例を自験させることにより、臨床参加型実習の充実がなされました。また、国家試験ならびに全国公開模擬試験の結果分析を詳細に行い、全国水準を念頭に置いた特別補講の実施、国家試験予備校の講師招聘によるオーダー講義を実施し、歯科医師国家試験の合格率向上を目指しました。その結果、平成 23、24 年度の合格率は向上しましたが、平成 25 年度は全国の合格者が約 340 名削減されるという極めて厳しい状況の中、本学でも新卒者の合格率が低下し、平成 26 年度も低下したままでした。このことから、これまでの国家試験対策の見直しを行うとともに、新たな取り組みについても検討していきます。

③薬学部

入学時から、薬学部教員によるグループ指導を行い、基礎学力の向上に努めてきました。また、医学部教員による授業や、他学部学生と連携した授業は、医療全体に対する意欲向上に役立っています。教室配属が行われる高学年では、配属先の講座の教員による薬剤師国家割験問題の分析と対策を進め、「基礎力」と「考える力」を身につける個別指導を行っています。通常の講義に加え、補習や模擬試験も実施し、出題領域全てに対応できるよう対策を講じてきました。第 100 回薬剤師国家試験の合格率は全国的には若干回復したものの、本学は昨年度以上に厳しい結果となり伸び悩みました。CBT 対策や薬剤師国家試験の合格率向上には、低学年から問題解決能力を鍛えることが必須案件であるとの教員全員の共通認識のもと、指導を更に手厚くするべく取り組んでいきます。

（８）第 34 回国内医科大学視察と討論の会の共催

公益財団法人　医学教育振興財団との共催で平成 26 年 9 月 18 日、19 日の 2 日間にわたり開催しました。文部科学省医学教育課長をはじめ、全国医系大学からの医学教育関係者と本学関係者合わせて 170 名余りが参加し、文部科学省医学教育課長と本学学長の特別講演のほか、医学教育に関する本学

独自の取組みの発表や、学生を交えたディスカッション、災害時地域医療支援教育センターの施設見学などが行われました。参加者からは有意義な会であったことの感想があり、本学を知っていただく良い機会であったこと、また、他大学の取り組み等を参考として、本学における今後の医学教育をより充実したものへと発展させていくきっかけとなりました。

（９）学習支援のためのラーニング・コモンズを整備

プレゼンテーションエリア

学修支援のためのラーニング・コモンズを、平成 26 年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金により整備しました。食堂の奥に人数に応じた多様な学修のためのコラボレーションエリア、キャンパスモールにオープンスタイルで発表やグループ学修に対応のプレゼンテーションエリアを配置、プロジェクター付電子黒板、壁面ホワイトボードなど自発的学修を実現する設備を整えました。1 月の運用開始から 3 月末までで延べ 2,306 人の利用がありました。

(10) 広汎で持続的な就職支援の展開

薬剤師の仕事への理解を深め進路選択の一助とするため、計 7 名の講師による業種研究講演会を開催しました。学内企業研究セミナーは OB・OG を同行する事業所が増え盛況でした。盛岡新卒応援ハローワークのジョブサポーターやキャリア支援センター顧問との個別面談も継続実施しましたが、就活スケジュール後ろ倒しの影響もあり利用者は昨年を下回りました。最終的に、薬学部第 3 期生の就職内定率は 83.1%にとどまりましたが、本学をはじめ大学附属病院への内定は前年度並みの 23 名でした。

(11) 医療専門学校の入学生の確保

県内外 108 校への高校訪問の実施、進学相談会への参加、各種広報媒体への出稿等により受験生の掘り起こしを図りました。また、歯科衛生学科では学校見学会を 5 回、歯科技工学科では体験入学を 6 回開催しました。参加人数は歯科衛生学科では前年度より減少しましたが、歯科技工学科では増加しました。入学者数に関しては、両学科とも定員を下回ったものの、歯科技工学科では前年度より 1.7 倍増加する結果となりました。

(12) 医療専門学校の国家試験合格率の高位維持

歯科衛生学科では、1 年間を通じた模擬試験の実施、国家試験対策補習講義および個別補習等によりきめ細やかな対策を行いました。歯科技工学科では、過去問題演習、実技指導などを反復して行い国家試験に備えました。この結果、平成 26 年度の国家試験合格率は、歯科衛生学科・歯科技工学科ともに 100%でした。

(13) 革新的医療機器等開発事業

平成 25 年度から引き続き「急性肝不全用の一体型個人用血液濾過透析機器の開発」「軟性型微細脳内視鏡の臨床研究」「いわて発高付加価値コバルト合金を用いた整形外科用インプラントの開発」「通信機能付充電式持続気道陽圧治療（nCPAP）装置および補助口腔内装置の開発」「高精度超音波

画像診断装置の開発」「不安定プラークの血液診断薬の開発」の６テーマについて、臨床での使用に向けた研究開発および性能試験を実施しました。

(14) がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

教育コースとして設置した、大学院医学研究科「緩和ケア地域医療連携を支援する指導的医療人育成コース」及びインテンシブコース「先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース」では、述べ９名を受入れました。また、ICT（TV 会議システム）を利用して首都圏及び山陰と連携し、「連携大学 ICT 特別講義」や「婦人科カンファレンス」等、多数の講義・カンファランスを開催しました。さらに、「キッズキャンサーセミナー」や「がんプロ国際シンポジウム」等を開催し、がんプロ学生への教育や人材交流等も推進しています。

(15) 災害時地域医療支援教育センター事業

昨年度から継続し、災害対応の問題点とデータ解析の進行、災害時に対応できる人材育成及び県内医療機関の災害対応力強化のための各種研修会開催、医師不足・偏在による医療課題の解決の為の被災沿岸地域の拠点病院との症例コンサルテーションなどの遠隔医療ネットワークを利用した支援体制強化をさらに推し進めました。また、平成 26 年度は全国から招聘し被災地診療に従事する医師を１名採用し、沿岸被災病院へ派遣することができました。今回の１名に加え、平成 27 年度については、さらに１名の医師を派遣することとなっております。

(16) 災害時実践力強化事業

自然災害、大規模事故等により要救助者・避難者が大量に発生した場合、医療従事者・救助関係者・行政職員には災害医療に係る強い実践力と密な連携が必要とされます。岩手県から委託を受けている本事業は、そのための人材育成を目的に、本学災害医学講座と連携し各種研修会を開催しました。岩手 DMAT 隊員養成研修を始めとする各種研修会は、講義だけでなく有事の際のシミュレーションなど、多組織との連携と実践力を強化する内容で行いました。

岩手 DMAT 隊員養成研修の様子

(17) 岩手県こころのケアセンター運営事業

沿岸自治体や医療機関等の関係機関と連携を図り、被災住民や自治体職員への個別支援をはじめ、講演会等の人材育成・普及啓発活動などを中心に活動を行いました。発災から４年が経過し被災地のニーズが多様化・個別化する中で、個々に寄り添った対応を意識して事業を展開しました。

(18) いわてこどもケアセンター運営事業

東日本大震災津波に被災した子供に対するこころのケアを中長期的、安定的に行うため、岩手県から事業委託を受け、拠点施設となる「いわてこどもケアセンター」を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟１階に設置し活動しています。沿岸地域と連携した専門的・継続的なケアに取り組み、平成 26 年度の延患者数は 2,035 名でした。

(19) 岩手県ドクターヘリ運航事業

平成 24 年 5 月 8 日運航開始以降、平成 26 年度においては、現場救急 352 件、転院搬送 71 件に対応しました。現場救急に当たっては、フライトドクター、フライトナースによる速やかな治療開始と短時間の搬送による救命率の向上が図られました。また、転院搬送においては、紹介元医療機関の医師の付添いが不要であるため、医師の負担軽減に繋がりました。

(20) 東北メディカル・メガバンク計画

地域住民コホート調査は、特定健診相乗り型を岩泉町、大槌町、釜石市、田野畑村、宮古市で、サテライト型を矢巾センターとサテライト（久慈、宮古、釜石、気仙）で実施し、約 11,000 人の方の参加登録を頂き、同時に 25 年度コホート登録者（約 9,000 人）を対象に追跡調査を開始しました。また 25 年度の調査票と検査結果に基づく断面解析を実施し、各地域で結果説明会を開催しました。オミックス解析では、予備的研究から本格研究に移行し、コホート登録者の解析に着手しました。

健康調査個別説明の様子

(21) 患者確保に向けた病院運営体制の整備

ⅰ　地域医療連携体制の整備

平成 26 年 10 月 1 日付で地域医療連携センターを設置しました。返書管理の適正化を平成 27 年 1 月 5 日から開始し、返書状況の可視化により徐々に返書率が向上しています。また、紹介患者の報告として、当日若しくは翌診療日に紹介元医療機関へ「ご紹介患者様来院報告書」を発出し速やかな来院報告を実施しました。

ⅱ　病床稼働率向上体制の整備

地域医療連携センターの設置により、看護部を中心としたベッドコントロール WG 立ち上げ検討を開始しました。平成 27 年度から専任看護師を配置しベッドコントロールが実施される予定です。

ⅲ　医療コンシェルジュ等の導入検討

平成 26 年 4 月から医務課内に主に文書作成を担うドクターズ・クラークを 1 名配置しました。医師の負担軽減と文書発送期間の短縮に有意性を認めました。

(22) 経費の節減を行う組織体制の整備（経費節減プロジェクトの実施検討）

LCO（ローコストオペレーション）を導入した施設（3 施設）の見学及び研修会への参加（1 回）により情報を収集し、LCO プロジェクトを開始しました。

(23) 10 号館地下脳血流測定室のデジタルガンマカメラシステム更新

デジタルガンマカメラは脳血管手術の適応決定検査に必須であり、購入後 16 年以上が経過し、劣化が激しく部品供給が困難なこと、現有機器の稼働状況及び新病院における機器の設置構想上も現状の台数が必要なため、国内唯一の 3 検出型 SPECT 装置で高画質の画像が得られる東芝メディカルシステムズ製のデジタルガンマカメラに更新しました。

(24) 健康管理システムの更新

平成 19 年度に導入した健康管理システムは、構築から 7 年を経過し、サーバ及び PC についても老朽化に伴う故障が頻発していました。学生・職員数も年々増加し、業務量も増大していることから、業務全般の効率化を図り、学生・職員の健康管理支援をより一層充実させるためシステムの更新を実施しました。

(25) 高度救命救急センター及び東病棟の外壁修繕

平成 24 年度の特殊建築物定期報告において、高度救命救急センター及び東病棟外壁の落下・崩落の危険があるとの指摘を受けたため、緊急性を要する東面 1 部と南面を優先して修繕を行いました。

◆**施行業者**：清水建設㈱東北支店
◆**施 行 費**：18,468,000 円(税込)
◆**工　　期**：平成 26 年 9 月 18 日～平成 27 年 1 月 31 日

(26) 6 号館ボイラー室の不活性ガス消火設備貯蔵容器更新工事

平成 21 年 3 月及び平成 25 年 11 月施行の消防法改正に伴い、6 号館ボイラー室の不活性ガス消火設備の貯蔵容器及び容器弁(1985 年竣工)を更新しました。

◆**施行業者**：盛岡ニッタン㈱
◆**施 行 費**：5,940,000 円(税込)
◆**工　　期**：平成 26 年 9 月 29 日～平成 26 年 12 月 29 日

(27) CVCF 設備バッテリー更新工事

CVCF 設備は、電子カルテシステム、医療情報システム、学内 LAN 等のサーバに無停電の電源を供給する重要な設備であり、2001 年に竣工後 12 年(期待寿命 5～8 年)が経過していることから、経年劣化による容量低下が生じ機能維持が困難なためバッテリーを交換しました。

◆**施行業者**：㈱興和電設
◆**施 行 費**：12,420,000 円（税込）
◆**工　　期**：平成 26 年 9 月 29 日～平成 26 年 12 月 29 日

(28) 矢巾キャンパス図書館分館の図書落下防止対策

災害時の図書落下に備え、書架の上部 3 段を 10 年かけて順次傾斜スライド棚へ交換して行く計画で、平成 26 年度は危険度の高い閲覧席隣接の書架最上段のうち 75 段を交換しました。その他、書架アンカー再固定工事により強度増強を図り、下部棚板へ落下防止テープを貼付しました。学生の生命を守るという図書館のリスクマネージメントの観点から、今後も危険度の高い順に対応し安全確保に努めていきます。

9．主な行事等

【平成 26 年度】

4 月 1 日　　新入職員辞令交付式（歯学部講堂）
4 月 1 日、2 日　歯学部学業奨励奨学金表彰【2～5 学年】（内丸・矢巾キャンパス）
※3 月 31 日に 6 学年の表彰を実施（内丸キャンパス）
4 月 5 日　　医療専門学校入学式（歯学部講堂）（歯科技工学科 11 名、歯科衛生学科 37 名）
医療専門学校（歯科技工学科）父母会総会（歯学部 4 階会議室）
医療専門学校（歯科衛生学科）父母会総会（歯学部 4 階第 1 講義室）
4 月 9 日　　学部・大学院入学式（岩手県民会館）
（大学院　医学研究科博士課程 36 名、修士課程 3 名）
（大学院　歯学研究科博士課程 11 名）
（大学院　薬学研究科博士課程　5 名）
（学　部　医学部 123 名、歯学部 51 名、薬学部 190 名、医学部編入学生 7 名、歯学部編入学生 4 名）
父兄会総会（岩手県民会館）
4 月 10 日　　第 9 回医学教育講演会（記念館 9 階第 2 講義室）
4 月 12 日、13 日　医・歯・薬 3 学部合同セミナー（ホテル安比グランド）
4 月 25 日　　第 1 回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東 2-E 講義室）
4 月 26 日　　歯学部 FD 講習会（歯学部 4 階第 1 講義室他）
矢巾キャンパス弓道場「彰誠館」道場開き
4 月 30 日　　歯学部 FD 第 1 回教育研修会（歯学部 4 階第 2 講義室）
5 月 9 日　　薬学部 5 学年白衣授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
5 月 14 日　　歯学部 FD 第 2 回教育研修会（歯学部 4 階第 2 講義室）
5 月 24 日　　入院患者を対象としたコンサート（外来待合ロビー）
6 月 2 日　　高度看護研修センター認定看護師教育課程開講式（記念館 8 階研修室）
6 月 5 日　　感染対策講習会【初日】（歯学部講堂）
6 月 6 日　　歯と口の健康週間「ウェルかむ 2014」（歯科医療センター）
おお口の健康セミナー（歯科医療センター4 階会議室）
6 月 7 日　　医・歯・薬学部第 1 学年野外活動（安比高原）
第 42 回白寿会総会（岩手県産業会館 7 階大ホール）
6 月 13 日　　父兄懇談会【医学部・歯学部 4～6 学年】（盛岡グランドホテル）
6 月 16 日～19 日　薬学部学業奨励奨学金表彰【2～4、6 学年】（矢巾キャンパス）
6 月 19 日　　第 2 回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東 2-E 講義室 他）
6 月 24 日　　永年勤続者表彰式（歯学部講堂）（30 年勤続 26 名、20 年勤続 46 名）
6 月 26 日　　第 10 回医学教育講演会（記念館 10 階会議室、矢巾キャンパス会議室）
6 月 28 日　　第 77 回解剖体慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
医療専門学校（歯科衛生学科）第 1 回学校見学会
医療専門学校（歯科技工学科）第 1 回体験入学
6 月 30 日　　体育大会壮行会（矢巾キャンパス体育館）
7 月 5 日　　父兄懇談会【薬学部 4～6 学年】（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
薬学部卒業研究発表会【6 学年】（矢巾キャンパス多目的ホール）
7 月 15 日　　歯学部 FD 第 3 回教育研修会（歯学部 4 階第 1 講義室）
7 月 23 日　　第 3 回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス食堂）
7 月 23 日、24 日　第23回医学教育ワークショップ（災害時地域医療支援教育センター）
7 月 26 日　　医療専門学校（歯科衛生学科）第 2 回学校見学会
医療専門学校（歯科技工学科）第 2 回体験入学
7 月 26 日、27 日　オープンキャンパス 2014（矢巾キャンパス）
7 月 29 日～8 月 1 日　第 35 回岩手医科大学市民公開講座（矢巾キャンパス）
8 月 2 日　　医療専門学校（歯科技工学科）第 3 回体験入学
8 月 22 日　　薬学部学業奨励奨学金表彰【5 学年】（矢巾キャンパス）

矢巾キャンパス弓道場「彰誠館」道場開き

オープンキャンパス 2014

8 月 23 日　　医療専門学校（歯科衛生学科）第 3 回学校見学会
　　大学院歯学研究科前期入学試験
8 月 31 日　　南東北地区父兄懇談会（江陽グランドホテル）
9 月 6 日　　医療専門学校（歯科技工学科）第 4 回体験入学
9 月 18 日、19 日　第 34 回国内医科大学視察と討論の会（矢巾キャンパス）
9 月 27 日　　医療専門学校（歯科衛生学科）第 4 回学校見学会
　　医療専門学校（歯科技工学科）第 5 回体験入学
　　大学院薬学研究科前期入学試験
10 月 4 日　　医療専門学校（歯科衛生学科）戴帽式（医療専門学校 4 階講堂）
　　アイバンク街頭 PR（イオン盛岡南 SC）

医療専門学校戴帽式

10 月 4 日、5 日　医大祭（矢巾キャンパス）
10 月 6 日　　第 47 回動物慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
10 月 17 日　　父兄懇談会【医学部・歯学部 1～3 学年】（盛岡グランドホテル）
10 月 25 日　　父兄懇談会【薬学部 1～3 学年】（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
　　医療専門学校（歯科衛生学科）推薦入学試験、社会人 1 期入学試験
11 月 1 日　　エネルギーセンター建設工事起工式（附属病院移転用地内）
　　医療専門学校（歯科技工学科）推薦入学試験、社会人 1 期入学試験
11 月 7 日　　ボイラー安全祈願祭（西病棟地下 1 階ボイラー室）
11 月 8 日　　医学部・歯学部・薬学部推薦入学試験、歯学部編入学試験
11 月 21 日　　保険診療に関する講習会（歯学部講堂）
11 月 21 日、22 日　第 24 回医学教育ワークショップ（安比グランドホテル）
11 月 28 日　　大学院医学研究科入学試験【第 1 回】
12 月 1 日　　学友会クラブ活動報告会（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
12 月 6 日　　医療専門学校（歯科衛生学科）第 5 回学校見学会
　　入院患者さんを対象としたクリスマスコンサート（外来待合ロビー）

クリスマスコンサート

12 月 9 日　　歯学部 FD 第 4 回教育研修会（歯学部 4 階第 1 講義室）
12 月 25 日　　医療専門学校（歯科技工学科）第 6 回体験入学
12 月 25 日、26 日　高大連携ウインターセッション（内丸・矢巾キャンパス）

【平成 27 年】
1 月 5 日　　新年祝賀式（記念館 8 階研修室）
1 月 6 日　　第 9 回大学院医学研究科医学教育 FD（記念館 8 階研修室）
1 月 7 日　　歯学部 FD 第 5 回教育研修会・大学院歯学研究科 FD（歯学部 4 階第 1 講義室）
1 月 21 日　　医学部一般一次入学試験
1 月 23 日　　高度看護研修センター認定看護師教育課程修了式（記念館 8 階研修室）
1 月 24 日　　医療専門学校（歯科衛生学科）一般 1 期入学試験、社会人 2 期入学試験
　　医療専門学校（歯科技工学科）一般 1 期入学試験、社会人 2 期入学試験
1 月 30 日　　歯学部・薬学部前期一般入学試験、歯学部センター利用前期入学試験
1 月 30 日、31 日　医学部一般二次入学試験
2 月 13 日　　大学院歯学研究科中期入学試験
2 月 25 日　　第 4 回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東 2-E 講義室 他）
2 月 26 日　　歯学部・薬学部中期一般入学試験、歯学部中期編入学試験
2 月 27 日　　大学院医学研究科入学試験【第 2 回】
　　第 5 回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東 2-E 講義室 他）
2 月 28 日　　医療専門学校（歯科技工学科）一般 2 期・社会人 3 期入学試験

最終講義

3 月 2 日　　遠藤重厚教授、三浦廣行教授、中居賢司教授　最終講義（歯学部講堂）
　　医学部学士編入学試験（一次）
3 月 5 日　　医療専門学校卒業式（歯学部講堂）（歯科技工学科 11 名、歯科衛生学科 31 名）
3 月 7 日　　企業研究セミナー（薬学部学生対象）（矢巾キャンパス東研究棟 SGL 教室）
3 月 7 日～22 日　海外外国語演習（イギリス・ ブライトン市）
　　（医学部 1 学年 8 名、歯学部 1 学年 2 名、薬学部 1 学年 5 名）

3 月 9 日　医学部学士編入学試験（二次）
3 月 10 日　第 25 回医学教育ワークショップ（記念館 8 階研修室）
3 月 12 日　大学院薬学研究科後期入学試験
医療専門学校（歯科衛生学科）一般 2 期・社会人 3 期入学試験
3 月 13 日　学部、大学院卒業式（岩手県民会館）
（大学院　医学研究科博士課程 8 名、修士課程 6 名、歯学研究科博士課程 7 名）
（学　部　医学部 104 名、歯学部 47 名、薬学部 124 名）
3 月 19 日　歯学部・薬学部後期一般入学試験、歯学部センター利用後期入学試験、歯学部後期編入学試験
3 月 20 日　大学院歯学研究科後期入学試験
医療専門学校（歯科技工学科）一般 3 期・社会人 4 期入学試験
3 月 24 日　歯学部 FD 第 6 回教育研修会（歯学部 4 階第 2 講義室）
3 月 26 日　医療専門学校（歯科衛生学科）一般・社会人追加入学試験
保険診療に関する講習会（歯学部講堂）
3 月 31 日　定年退職者等辞令交付式（記念館 10 階会議室）

岩手医科大学卒業式

10. 土地の増減

［増加］			
1	日赤岩手県支部及び日赤岩手乳児院跡地の取得による増加	1,867.91㎡	158,000,000円
［減少］			
1	前九年土地の売却による減少	△9,917.37㎡	322,199,629円

11. 建物等の増減

（1）　建　物　　1,609,601 円

［増加］

1	10 号館理学治療室改修工事（増価）	346,003 円
2	10 号館地域医療連携センター設置改修工事（増価）	1,263,598 円

（2）　建物附属設備　　81,857,842 円

［主な増加］

1	歯科技工学科移転改修工事	54,170,364 円
2	PET・リニアック先端医療センター通信線盛替工事	10,791,937 円
3	地域医療連携センター設置改修工事	2,484,000 円
4	矢巾キャンパス落雷対策に伴う SPD 設置工事	2,376,000 円
5	矢巾キャンパスラーニングコモンズ設置電気設備工事	1,998,000 円
6	循環器医療センター第 1.2 心臓カテーテル室照明器具安定器他取替工事	1,814,400 円
7	PET・リニアック先端医療センターLAN 接続 HUB 設置工事	1,287,360 円
8	矢巾キャンパスラーニングコモンズ設置情報設備工事	1,080,000 円
9	中病棟 3 階ナースコール設備増設工事	864,000 円
10	矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟衛星電話設置に伴う電気設備工事	658,800 円

（3）　構築物　　増減なし

12. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等

（単位:円）

（１）国庫補助金		3,462,086,000
1	私立大学等経常費補助金（日本私立学校振興・共済事業団）	2,255,325,000
2	次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金（文部科学省）	1,001,241,000
3	大学改革推進等補助金(大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業）（文部科学省）	104,673,000
4	大学改革推進等補助金(課題解決型高度医療人材養成プログラム）（文部科学省）	2,780,000
5	大学改革推進等補助金(大学間連携共同教育推進事業）（文部科学省）	1,319,000
6	研究拠点形成費等補助金（先進的医療イノベーション人材養成事業「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」）（文部科学省）	20,000,000
7	私立大学等研究設備整備費等補助金（ジェネティックアナライザ）（文部科学省）	11,776,000
8	私立大学等研究設備整備費等補助金（バーチャルスライド装置）（文部科学省）	3,595,000
9	私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金（文部科学省）	11,758,000
10	臨床研修費等補助金（医師）（厚生労働省）	13,726,000
11	臨床研修費等補助金（歯科医師）（厚生労働省）	32,159,000
12	チーム医療促進事業委託費（厚生労働省）	554,000
13	スマートエネルギーシステム導入促進事業費補助金（経済産業省）	3,180,000
（２）地方公共団体補助金等		2,262,364,106
1	革新的医療機器等開発事業補助金（岩手県）	342,285,000
2	災害医療体制等整備費補助金（エネルギーセンター棟新築工事）（岩手県）	84,400,000
3	高度救命救急センター運営費補助金（岩手県）	256,192,000
4	岩手県ドクターヘリ運航事業費補助金（岩手県）	213,657,000
5	岩手県高度救命救急センター設備整備費補助金（岩手県）	50,000,000
6	救命救急センター施設設備整備補助金（岩手県）	4,000,000
7	医学部地域枠に係る教育研究費（岩手県）	225,000,000
8	医療局医学教育研究助成金（岩手県）	60,000,000
9	地域医療研究費補助金（岩手県）	20,000,000
10	周産期母子医療センター運営費補助金（岩手県）	75,903,000
11	周産期母子医療センター超音波画像診断装置等整備事業費補助金（岩手県）	56,052,000
12	周産期医療施設設備整備事業費補助金（岩手県）	5,850,000
13	周産期臨床技術修練研修事業費補助金（岩手県）	511,000
14	産科医等確保支援補助金（岩手県）	2,653,000
15	新生児医療担当医確保支援事業補助金（岩手県）	1,260,000
16	小児医療施設設備整備事業費補助金（岩手県）	9,450,000
17	女性医師就労環境改善事業補助金（岩手県）	1,774,000
18	医療従事者等養成施設整備費補助金（岩手県）	34,025,000
19	防災訓練等参加支援事業費補助金（岩手県）	508,000
20	がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金（岩手県）	21,000,000
21	自殺対策緊急強化事業費補助金（岩手県）	18,996,980
22	診療情報分析事業費補助金（岩手県）	9,280,000
23	医療勤務環境改善支援事業費補助金（岩手県）	1,096,000
24	院内保育所運営事業補助金（岩手県）	3,133,000
25	院内保育所夜間運営事業補助金（岩手県）	36,000

26	認定看護師育成支援事業費補助金（岩手県）	2,100,000
27	認定看護師養成研修事業補助金（岩手県）	1,568,000
28	新人看護職員研修事業費補助金（岩手県）	1,893,000
29	私立専修学校運営費補助金（岩手県）	2,991,000
30	病院群輪番制病院運営費補助金（盛岡市）	5,949,600
31	小児救急医療支援事業費補助金（盛岡市）	3,783,010
32	小児救急医療受入態勢整備事業費補助金（盛岡市）	1,394,680
33	救急医療確保支援事業補助金（花巻市）	20,000,000
34	病院群輪番制病院運営費補助金（花巻市）	5,696,820
35	岩手医科大学市民公開講座事業補助金（矢巾町）	50,000
36	学術研究振興資金（若手研究者奨励金）（日本私立学校振興・共済事業団）	500,000
37	岩手県こころのケアセンター等設置運営業務委託費（岩手県）	460,373,655
38	いわてこどもケアセンター設置運営事業委託費（岩手県）	142,597,080
39	岩手県周産期救急搬送コーディネータ事業委託費（岩手県）	11,204,308
40	小児救急医療遠隔支援システム運営業務委託費（岩手県）	4,443,120
41	胎児先天性心疾患診断技術等普及研修事業業務委託費（岩手県）	3,344,218
42	不妊専門相談センター事業委託費（岩手県）	5,832,000
43	災害時実践力強化事業委託費（岩手県）	5,615,978
44	東日本大震災医療救護診療録分析報告業務委託費（岩手県）	2,915,622
45	精神科救急医療施設身体合併症対応施設事業委託費（岩手県）	25,050,220
46	精神科救急医療施設常時対応施設事業委託費（岩手県）	16,543,500
47	岩手県地域医療支援センター業務委託費（岩手県）	10,282,851
48	岩手県肝疾患相談センター運営事業委託費（岩手県）	7,677,570
49	岩手県認知症疾患医療センター運営事業委託費（岩手県）	7,236,000
50	岩手県予防接種センター機能推進事業委託費（岩手県）	2,118,000
51	岩手県臨床研修スケジュール管理システム運営委託費（岩手県）	296,244
52	岩手県心身障がい者(児)歯科診療事業委託費（岩手県）	6,656,650
53	エイズ診療に係る医療・介護従事者等研修事業委託費（岩手県）	460,000
54	エイズ治療中核拠点病院カウンセラー設置事業委託費（岩手県）	228,000
55	重症難病患者入院施設連絡協議会設置委託費（岩手県）	6,433,000
56	岩手県在宅重症難病患者一時入院事業委託費（岩手県）	68,000

岩手医科大学総合移転整備計画　附属病院移転事業　エネルギーセンター棟新築工事

【対象補助金】

1. スマートエネルギーシステム導入促進事業費補助金（経済産業省）
2. 災害医療体制等整備費補助金（エネルギーセンター棟新築工事）（岩手県）

平成26年11月1日起工式

【工事概要】

1. 建設場所：矢巾キャンパス附属病院移転敷地内（C敷地）
2. 構　　造：RC造一部S造　地上4階　搭屋1階
3. 延床面積：6,030.47㎡
4. 設計管理：㈱日建設計
5. 施行業者：清水建設㈱東北支店（エネルギーセンター棟新築工事）
   ㈱興和電設（スマートエネルギーシステム導入促進事業対象工事(電気設備工事)）
   ㈱朝日工業社東北支店（スマートエネルギーシステム導入促進事業対象工事(機械設備工事)）
6. 期　　間：平成26年11月1日～平成28年3月31日
7. 総事業費：約70億円

13. 取得した主な機器備品

（１）医学部　351,308,220円

1	Infinium Automating module	１式
2	超音波診断装置	１式
3	ジェネティックアナライザー	１式
4	フルデジタル超音波診断装置 Aplio500 Platinum	１式
5	手術顕微鏡 OPMI Vario	１式
6	全自動電気泳動分析装置 エパライザ2 ジュニア	１式
7	デジタル脳波計	１式
8	筋電図・誘発電位検査装置	１式
9	超音波診断装置 Noblus	１式
10	涙道・鼻内視鏡システム	１式
11	脊椎パワーシステム一式	１式
12	オールインワン蛍光顕微鏡	１式
13	バーチャルスライドシステム	１式
14	個人用多用途透析装置	２式
15	入退室設備・静脈認証設備・監視設備	１式
16	FAZONE CB 超音波診断装置	１式
	他	

（２）歯学部　62,512,110円

1	イメージングサイトメーター・Cystell Cell Imaging System	１式
2	生理学実習システム	１式
3	全身麻酔装置	１式
4	デジタルX線センサー	１式
5	全身麻酔装置エスパイア	１式
6	ARCTICAオートスキャン/アルクスディグマ2	１式
7	マエストロ3Dオルソシステム	１式
8	CFX Connect リアルタイムPCR装置	１式
9	ゲルイメージングシステム	１式
10	歯科用ユニット　特別仕様	１式
11	歯科ユニット ノバセリオステップタイプ（オーバーアーム）	１式
	他	

（３）薬学部　19,053,460円

1	Di-4 ANEPPS計測基本セット	１式
2	プリンター ORPHIS	１式
3	LENONシステム　（全学利用）	１式
4	OMR 採点授業評価システム（全学利用）	１式
5	レーザー光源 共焦点レーザー走査型型顕微鏡用	１式
6	超短焦点プロジェクター付電子黒板	１式
7	SMARTビデオ画像行動解析装置	１式
8	LCワークステーション	１式
	他	

（４）教養教育センター　3,723,552円

1	ルーチン検査用回転式ミクロトーム	１式
2	コニカミノルタCRシステム	１式
3	グロースチャンバー	１式
	他	

（５）大学附属病院（医科）　742,470,518円

1	MRイメージング装置	１式
2	内視鏡システム VPP	１式
3	ガンマカメラシステム	１式
4	輸液ポンプ、シリンジポンプ	１式
5	超音波診断装置 Volson	１式
6	白内障手術装置 CENTURION Vision System	１式
7	超音波ワークステーション センターサーバ	１式
8	電子カルテシステム増設ディスク	１式
9	超音波診断装置 ACUSON	１式
10	ECO Meeting ペーパーレス会議システム	１式
11	人工呼吸器 ハミングX	１式
12	超音波画像診断装置	１式
13	一般撮影装置 RAD SPEED PRO	１式
14	内視鏡システム Advancia HD	１式
	他	

（６）歯科医療センター　1,790,424円

1	エアウェイスコープ	１式
2	内視鏡保管庫 TM-1404W	２式
3	歯科技工用成形器 エルコプラス 300TP	１式
4	McGRATH MAC ビデオ喉頭鏡	１式
	他	

（７）岩手県高度救命救急センター　50,083,920円

1	人工呼吸器一式 EvitaInfinity	２式
2	フルデジタル超音波診断装置	１式
3	マイクロサージャリー手術台 MST-7201B型	１式
4	ベッドサイドモニタ	１式
5	Pro-Next型全身麻酔器	１式
	他	

（８）循環器医療センター　48,677,360円

1	超音波診断装置	１式
2	除細動器	１式
3	非目視下鏡下処置用電気手術器 BMC RFジェネレーターⅡ	１式
4	ビジランヘモダイナミックモニター	２式
	他	

（９）附属花巻温泉病院　22,919,280円

1	内視鏡システム	１式
2	超音波洗浄装置	１式
3	ダイオニクスパワーⅡシェーバーセット	１式
	他	

（10）附属PET・リニアック先端医療センター 1,944,000円

1	鉛遮へい衝立JERLO-101S	１式
2	鉛遮へい衝立JERLO-102S	１式

（11）医療専門学校歯科衛生学科　346,680円

1	ルナクレーブ・フルオート	１式

（12）法人　41,152,018円

1	健康管理システム	１式
2	マイクロバス コースター	１式
3	複合機 DocuCentre-V	２式
	他	

総額1,345,981,542円の機器備品を取得しました。

Ⅱ　人事の概要

1．主な役職人事

新任

全学教育推進機構長	佐　藤　洋　一	（平成26年4月1日付）
図書館長	佐　藤　洋　一	（平成26年4月1日付）
総合情報センター長	小　山　耕太郎	（平成26年4月1日付）
附属病院副院長	千　田　勝　一	（平成26年4月1日付）
図書館分館長	名　取　泰　博	（平成26年4月1日付）
総合情報センター副センター長	田　中　良　一	（平成26年4月1日付）
いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長	中　村　元　行	（平成26年4月1日付）
いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長	小笠原　邦　昭	（平成26年4月1日付）
附属花巻温泉病院副院長	一　戸　貞　文	（平成26年5月1日付）

再任

副学長	祖父江　憲　治	（平成26年4月1日付）
学生部長	赤　坂　俊　英	（平成26年4月1日付）
附属花巻温泉病院長	猪　又　義　男	（平成26年4月1日付）
PET・リニアック先端医療センター長	中　村　隆　二	（平成26年4月1日付）
医療専門学校長	三　浦　廣　行	（平成26年4月1日付）

2．主な教職員人事

昇任・任用

解剖学講座細胞生物学分野	教　授	齋　野　朝　幸	（平成26年4月1日付）
薬学部有機合成化学講座	教　授	河　野　富　一	（平成26年4月1日付）
薬学部薬剤治療学分野	教　授	三　部　　篤	（平成26年4月1日付）
医療工学講座	教　授	服　部　雅　之	（平成26年5月1日付）
医学部泌尿器科学講座	教　授	小　原　　航	（平成26年7月1日付）
医学部睡眠医療学科	教　授	櫻　井　　滋	（平成26年7月1日付）
微生物学講座感染症学・免疫学分野	教　授	村　木　　靖	（平成26年8月1日付）
歯学部口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	特任教授	星　　秀　樹	（平成26年10月1日付）
医学部腫瘍内科学科	教　授	伊　藤　薫　樹	（平成27年1月1日付）
医学部心臓血管外科学講座	教　授	猪　飼　秋　夫	（平成27年1月1日付）
医学部整形外科学講座	教　授	一　戸　貞　文	（平成27年1月1日付）
病理学講座機能病態学分野	教　授	佐　藤　　孝	（平成27年1月1日付）

退職

医学部外科学講座	教　授	若　林　　剛	（平成27年3月31日付）
医学部救急医学講座	教　授	遠　藤　重　厚	（平成27年3月31日付）
歯学部口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	教　授	三　浦　廣　行	（平成27年3月31日付）
歯学部口腔医学講座関連医学分野	教　授	中　居　賢　司	（平成27年3月31日付）

3．職員総数

職員総数は、年度当初2,686名であり、年度間の採用者数は286名（内４月１日付採用者236名）、退職者数は176名でした。

Ⅲ　学事の概要

1．入学者、卒業（修了）者数

区　　分	入学定員	入　学　者	卒業（修了）者	学生数※1
医学部	123名※2	123名	104名	772名
歯学部	73名	51名	47名	373名
薬学部	160名	190名	124名	964名
医学研究科（博士課程）	50名	36名	8名	147名
医学研究科（修士課程）	10名	3名	6名	9名
歯学研究科（博士課程）	18名	11名	7名	36名
薬学研究科（博士課程）	3名	5名	―	7名
薬学研究科（修士課程）	3名	0名	―	0名
医療専門学校歯科衛生学科	40名	37名	31名	108名
医療専門学校歯科技工学科	25名	11名	11名	22名

※1 平成26年5月1日現在
※2　第3学年への学士編入学定員（7名）は含めない。

2．学位授与者数

（１）大学院医学研究科
博士課程修了者（甲）　26名　　論文提出者（乙）　7名
修士課程修了者　6名

（２）大学院歯学研究科
博士課程修了者（甲）　7名　　論文提出者（乙）　0名

3．文部科学省科学研究費助成事業　171件　266,879,030円

（１）科学研究費補助金		
①新学術領域研究	2件	9,100,000円
②研究活動スタート支援	4件	5,479,397円
③奨励研究	1件	300,000円
④特別研究員奨励費	1件	1,128,467円
⑤研究成果公開促進費	1件	1,500,000円
（２）学術研究助成基金助成金		
①基盤研究（B）	1件	4,598,412円
②基盤研究（C）	103件	157,290,594円
③挑戦的萌芽研究	11件	16,205,187円
④若手研究（B）	47件	71,276,973円

４．厚生労働科学研究費補助金等　6件　162,182,648円

（１）地域医療基盤開発推進研究事業
（２）長寿科学総合研究事業
（３）厚生労働科学特別研究事業
（４）健康安全・危機管理対策総合研究事業
（５）医療技術実用化総合研究事業
（６）難治性疾患実用化研究事業

５．その他の補助金等　8件　17,532,700円

（１）文部科学省
①科学技術試験研究委託事業（リーディングプロジェクト）
②研究開発施設共用等促進費補助金（シーズC）
③ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
④二国間交流事業
（２）独立行政法人科学技術振興機構（JST）
①復興促進プログラム（マッチング促進）
②A-STEPハイリスク挑戦タイプ（復興促進型）
③研究成果展開事業（センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム）

６．解剖体慰霊祭および解剖体数

解剖体慰霊祭を平成26年6月28日（土）に矢巾キャンパス大堀記念講堂で行いました。

（１）慰霊祭の対象者数	病理解剖	14霊	正常解剖	50霊
（２）本年度の解剖体数	病理解剖	16霊	正常解剖	96霊
（３）正常解剖用収集体数	66体			

７．白寿会員数

（１）会員数（生存者）
1,345人（うち本年度入会者108人）

（２）献体者延数
1,378人（うち本年度献体者 66人）

８．海外出張者数（延べ人数）

総延人数

医学部	144人
歯学部	66人
薬学部	14人
教養教育センター	6人

９．国家試験成績

第109回医師国家試験　（平成27年2月7日～9日　実施）
受験者117名、合格者104名、合格率88.9%、全国平均91.2%
（平成27年3月18日　発表）

第108回歯科医師国家試験　（平成27年1月31日、2月1日　実施）
受験者97名、合格者48名、合格率49.5%、全国平均63.8%
（平成27年3月18日　発表）

第100回薬剤師国家試験　（平成27年2月28日、3月1日　実施）
受験者190名、合格者104名、合格率54.74%、全国平均63.17%
（平成27年3月27日　発表）

平成27年岩手県歯科技工士国家試験　（平成27年2月3日、4日　実施）
受験者11名、合格者11名、合格率100.0%
（平成27年3月6日　発表）

第24回歯科衛生士国家試験　（平成27年3月1日　実施）
受験者31名、合格者31名、合格率100.0%、全国平均95.9%
（平成27年3月27日　発表）

Ⅳ　附属病院の概要

1. 患者数

区分				患者数（人）		一日平均（人）	
				平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
入院患者	附属病院	附属病院（医科）		267,683	260,632	733	714
		高度救命救急センター		17,930	19,020	49	52
		循環器医療センター		37,718	37,445	103	103
		歯科医療センター		9,456	9,277	26	25
		小　計		332,787	326,374	911	894
	附属花巻温泉病院			43,485	40,684	119	112
	合　計			376,272	367,058	1,030	1,006
外来患者	附属病院	附属病院（医科）※いわてこどもケアセンター含む	新来	31,727	30,649	119	115
			再来	368,200	362,185	1,384	1,356
			計	399,927	392,834	1,503	1,471
		高度救命救急センター		3,486	3,696	13	14
		循環器医療センター	新来	1,054	954	4	4
			再来	16,425	17,137	62	64
			計	17,479	18,091	66	68
		歯科医療センター	新来	8,325	8,263	31	31
			再来	105,533	104,516	397	391
			計	113,858	112,779	428	422
		小　計		534,750	527,400	2,010	1,975
	附属花巻温泉病院		新来	2,560	2,117	10	8
			再来	33,639	31,073	126	116
			計	36,199	33,190	136	124
	附属PET・リニアック先端医療センター		新来	2,380	2,352	9	9
			再来	5,730	4,945	21	18
			計	8,110	7,297	30	27
	合　計			579,059	567,887	2,176	2,126

入院患者数は在院患者数（24時現在の患者数）に退院患者数を加算した延べ患者数である。
外来患者数には入院者外来数は含まない。

2. 救急患者取扱件数

区分		平成25年度	平成26年度
附属病院	附属病院（医科）	23,021	18,715
	高度救命救急センター	3,311	3,283
	循環器医療センター	245	392
	歯科医療センター	927	865
	小　計	27,504	23,255
附属花巻温泉病院		827	645
合　計		28,331	23,900

3. 分娩件数

平成25年度	391
平成26年度	411

4. 手術件数および死亡者数

区分		手術件数		死亡者数	
		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
附属病院	附属病院（医科）	8,104	8,354	226	198
	高度救命救急センター	363	363	119	115
	循環器医療センター	561	514	34	43
	歯科医療センター	325	358	3	3
	小　計	9,353	9,589	382	359
附属花巻温泉病院		654	589	50	45
合　計		10,007	10,178	432	404

5. アイバンク登録者数

登録者	10,736　人	（うち本年度登録者	43人）
角膜提供者	1,076　人	（うち本年度提供者	13人）
被角膜移植者	1,320　人	（うち本年度被移植者	21人）

Ⅴ　財務の概要

消費税増税や建築資材などの高騰が、附属病院移転計画を含む本学の経営に大きな影響を及ぼしている中、財政基盤の更なる強化に努めなければなりません。

このような環境下において、本学は教育・研究・医療の活性化と質的向上を目指し、各事業を推進しています。創立 120 周年記念事業関係では矢巾新病院のエネルギーセンター棟建設に着工するなどし、また、医療関係では病院各種機器の整備などを行いました。

平成 26 年度消費収支決算は、医療収入などが増加しましたが、一方、人件費や医療経費及び業務委託費などの諸経費の増加に加え消費税の増税により、21 億 6,333 万円の支出超過額を計上しました。

1．消費収支

（1）消費収入

消費収入の合計額 461 億 5,288 万円は、前年度比 16 億 681 万円（3.6%）増加、予算比では 5 億 8,764 万円（1.26%）下回りました。

① 学生生徒等納付金 82 億 9,152 万円は、前年度比 1 億 5,026 万円（1.8%）増加しました。主な増加要因は、医学部定員増の学年進行によるものです。
各学部等の内訳は次のとおりです。

	医 学 部	歯 学 部	薬 学 部	医療専門学校	計
授　業　料	19 億 9,554 万円	9 億 5,261 万円	12 億 5,558 万円	6,610 万円	42 億 6,983 万円
入　学　金	1 億 8,530 万円	4,000 万円	7,450 万円	1,365 万円	3 億 1,345 万円
実験実習費	3 億 8,577 万円	7,543 万円	1 億 7,354 万円	3,360 万円	6 億 6,834 万円
教育充実費	11 億 3,480 万円	3 億 5,560 万円	－	－	14 億 9,040 万円
施設整備費	7 億 9,060 万円	3 億 7,300 万円	3 億 8,590 万円	－	15 億 4,950 万円
計	44 億 9,201 万円	17 億 9,664 万円	18 億 8,952 万円	1 億 1,335 万円	82 億 9,152 万円

② 医療収入 331 億 4,063 万円は、前年度比 9 億 4,962 万円（3.0%）増加しました。
附属病院医科の医療収入は、前年度比 9 億 811 万円（3.7%）の増加、歯科医療センターは 1,160 万円（1.0%）の減少、循環器医療センターは 1 億 5,208 万円（3.2%）の増加、花巻温泉病院は 8,121 万円（5.5%）の減少、PET･リニアック先端医療センターは 1,776 万円（4.9%）の減少となりました。
病院別の医療収入内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	歯科医療ｾﾝﾀｰ	循環器医療ｾﾝﾀｰ	花巻温泉病院	PET・ﾘﾆｱｯｸ先端医療ｾﾝﾀｰ	計
入院収入	175億6,977万円	3億8,190万円	45億6,721万円	10億9,039万円	―	236億　927万円
外来収入	75億3,074万円	7億9,658万円	2億7,423万円	3億　412万円	3億4,646万円	92億5,213万円
その他の医療収入	2億4,904万円	456万円	1,528万円	999万円	36万円	2億7,923万円
計	253億4,955万円	11億8,304万円	48億5,672万円	14億　450万円	3億4,682万円	331億4,063万円

③　補助金合計額は、50億507万円で前年度比5,252万円（1.1%）増加しました。
私立大学等経常費補助金22億5,533万円は、前年度比1億480万円(4.9%）増加、その他の国庫補助金は、次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金（いわて東北メディカル･メガバンク機構）10億124万円、医師臨床研修費補助金1,373万円、歯科医師臨床研修費補助金3,216万円等で合計12億676万円となり、前年度比2億7,833万円（18.7%）減少しました。また、地方公共団体補助金は、革新的医療機器等開発事業補助金3億4,229万円、高度救命救急センター運営費補助金2億5,619万円等で合計15億4,249万円となり、前年度比2億2,554万円（17.1%）増加しました。

（２）消費支出

消費支出の合計額483億1,621万円は、前年度比18億5,278万円（4.0%）増加、予算比では5億5,867万円（1.2%）上回りました。

①　人件費212億6,923万円は、前年度比4億1,525万円（2.0%）増加しました。
給与、賞与、所定福利費の合計191億8,986万円は、前年度比4億3,218万円（2.3%）増加し、退職金と退職給与引当金繰入額、退職給与引当金特別繰入額の合計20億4,852万円は、前年度比1,691万円（0.8%）減少しました。

②　医療経費138億2,398万円は、前年度比8億1,994万円（6.3%）増加しました。
医薬品費は、前年度比4億3,340万円（6.2%）の増加、医療材料費は3億8,367万円（6.6%）の増加、給食材料費は287万円（1.3%）増加しました。
医療収入に対する医療経費割合は41.7%となり、前年度の40.4%を1.3%上回りました。
病院別の医療経費内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	歯科医療ｾﾝﾀｰ	循環器医療ｾﾝﾀｰ	花巻温泉病院	PET・ﾘﾆｱｯｸ先端医療ｾﾝﾀｰ	計
医薬品費（対医療収入比）	65億1,163万円（25.7%）	4,335万円（3.7%）	6億8,912万円（14.2%）	1億5,813万円（11.2%）	24万円（0.1%）	74億　247万円（22.3%）
医療材料費（対医療収入比）	39億8,165万円（15.7%）	1億9,746万円（16.7%）	16億9,055万円（34.8%）	2億　617万円（14.7%）	1億1,802万円（34.0%）	61億9,385万円（18.7%）
給食材料費（対医療収入比）	1億7,220万円（0.7%）	573万円（0.5%）	2,374万円（0.5%）	2,599万円（1.9%）	―	2億2,766万円（0.7%）
計（対医療収入比）	106億6,548万円（42.1%）	2億4,654万円（20.9%）	24億　341万円（49.5%）	3億9,029万円（27.8%）	1億1,826万円（34.1%）	138億2,398万円（41.7%）

③　光熱水費は、重油料 3 億 6,150 万円、ガス料 2,356 万円、電気料 6 億 6,933 万円、水道料 1 億 9,151 万円、合計 12 億 4,590 万円となり前年度比 5,389 万円（4.5%）増加しました。

④　修繕費は、施設修繕費 2 億 3,351 万円、機器備品修繕費 1 億 8,820 万円、合計 4 億 2,171 万円となり前年度比 6,944 万円（14.1%）減少しました。

⑤　消耗品費 11 億 6,273 万円は、前年度比 1 億 394 万円（9.8%）増加しました。

⑥　業務委託費 38 億 4,234 万円は、前年度比 4 億 7,898 万円（14.2%）増加しました。
部門別では、附属病院医科 18 億 1,090 万円、歯科医療センター1 億 529 万円、循環器医療センター 3 億 3,408 万円、花巻温泉病院 1 億 4,443 万円、その他 14 億 4,764 万円です。

⑦　公租公課 1 億 4,998 万円は、消費税 1 億 860 万円、法人税 1,905 万円、事業税 950 万円、固定資産税・都市計画税 1,030 万円等です。

⑧　福利費 1 億 9,475 万円は、学生福利費 2,839 万円、職員福利費 1 億 6,636 万円であり、健康診断経費等です。

⑨　減価償却額 36 億 5,236 万円は、前年度より 3,768 万円減少しました。

⑩　資産処分差額 2 億 8,880 万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

2．資本収支

（1）資産の部

①　土地関係は、日本赤十字社の内丸地区敷地取得により 1 億 5,800 万円増加し、前九年土地の一部売却により 3 億 2,219 万円減少しました。

②　施設関係は、建物 8,347 万円、建設仮勘定 6 億 9,095 万円です。

③　設備関係 13 億 5,841 万円は、教育研究用機器備品 13 億 465 万円等です。

④　施設拡充引当特定資産は、45 億円を積み立て、8 億 5,676 万円を取り崩しました。

⑤　貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 4 億 4,558 万円、歯科貴金属 773 万円、合計 4 億 5,331 万円です。

（2）負債、基本金、消費収支差額の部

①　退職給与引当金残高 88 億 4,297 万円のうち 32 億 7,236 万円は、平成 23 年度から 10 年間毎年度均等に繰り入れている退職給与引当金特別繰入額の累積額です。

②　前受金残高 15 億 5,412 万円は、平成 27 年度入学生の学生生徒等納付金等です。

③　預り金残高 6 億 124 万円は、源泉所得税 5,006 万円、県市町村民税 9,840 万円、私学共済掛金 1 億 1,872 万円等です。

④　基本金は 50 億 6,317 万円を組入れし、1,056 億 7,588 万円となりました。

⑤　消費支出超過額 21 億 6,333 万円と前年度繰越消費支出超過額 192 億 1,261 万円を合計した翌年度繰越消費支出超過額は、213 億 7,594 万円となりました。

⑥　自己資金（基本金＋翌年度繰越消費支出超過額）は、前年度より 28 億 9,984 万円増加し、842 億 9,994 万円となりました。
平成 26 年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は 842 億 9,994 万円です。

平成26年度　消費収支計算書

＜収入の部＞　　＜支出の部＞　　（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
1.　学生生徒等納付金	8,291,520	1.　人件費	21,269,225
(1)　授業料	4,269,834	(1)　教員人件費	5,832,800
(2)　入学金	313,450	(2)　職員人件費	13,357,060
(3)　実験実習費	668,336	(3)　役員報酬	30,845
(4)　教育充実費	1,490,400	(4)　退職金	143,600
(5)　施設設備費	1,549,500	(5)　退職給与引当金繰入額	1,087,920
2.　手数料	249,969	(6)　退職給与引当金特別繰入額	817,000
3.　医療収入	33,140,633	2.　諸経費	27,046,983
(1)　入院収入	23,609,274	(1)　医療経費	13,823,981
(2)　外来収入	9,252,130	(2)　消耗品費	1,162,729
(3)　その他の医療収入	279,229	(3)　光熱水費	1,245,903
4.　寄付金	2,247,719	(4)　旅費	277,202
(1)　特別寄付金	974,486	(5)　印刷製本費	153,028
(2)　一般寄付金	1,191,606	(6)　通信費	88,276
(3)　現物寄付金	81,627	(7)　交通運搬費	145,327
5.　補助金	5,005,074	(8)　洗濯費	82,693
(1)　経常費補助金	2,255,325	(9)　修繕費	421,711
(2)　その他の国庫補助金	1,206,761	(10)　諸会費	92,835
(3)　地方公共団体補助金	1,542,488	(11)　賃借料	397,131
(4)　学術研究振興資金	500	(12)　業務委託費	3,842,343
6.　資産運用収入	224,232	(13)　福利費	194,752
7.　事業収入	1,355,963	(14)　減価償却額	3,652,363
8.　雑収入	700,935	(15)　公租公課	149,979
		(16)　資産処分差額	288,799
帰属収入合計	51,216,045	(17)　その他	1,027,931
基本金組入額合計	△5,063,166		
消費収入の部合計	46,152,879	消費支出の部合計	48,316,208
当年度消費支出超過額	2,163,329		

平成26年度　資金収支計算書

＜収入の部＞　　＜支出の部＞　　（単位：千円）

科　目	金　額	科　目	金　額
1. 学生生徒等納付金収入	8,291,520	1. 人件費支出	20,356,329
2. 手数料収入	249,969	(1) 教員人件費支出	5,832,800
3. 寄付金収入	2,166,092	(2) 職員人件費支出	13,357,060
(1) 特別寄付金収入	974,486	(3) 役員報酬支出	30,845
(2) 一般寄付金収入	1,191,606	(4) 退職金支出	1,135,624
4. 補助金収入	5,005,074	2. 諸経費支出	22,815,324
(1) 国庫補助金収入	3,462,086	(1) 医療経費支出	13,567,619
(2) 地方公共団体補助金収入	1,542,488	(2) 一般教育研究経費支出	7,160,601
(3) 学術研究振興資金収入	500	(3) 管理経費支出	2,087,104
5. 資産運用収入	224,232	3. 施設関係支出	932,420
6. 資産売却収入	300,000	(1) 土地支出	158,000
7. 事業収入	1,355,963	(2) 建物支出	83,467
8. 医療収入	33,140,633	(3) 建設仮勘定支出	690,953
9. 雑収入	700,935	4. 設備関係支出	1,358,407
10. 前受金収入	1,554,119	(1) 機器備品支出	1,304,650
11. その他の収入	8,934,607	(2) その他の設備関係支出	53,757
(1) 施設拡充引当特定資産からの繰入収入	856,763	5. 資産運用支出	4,501,531
(2) 前期末未収入金収入	7,454,091	6. その他の支出	4,706,368
(3) 預り金受入等収入	623,753	(1) 前期末未払金支払支出	3,880,536
12. 資金収入調整勘定	△9,593,937	(2) 預り金支払等支出	825,832
13. 前年度繰越支払資金	14,779,908	7. 資金支出調整勘定	△3,396,703
		8. 次年度繰越支払資金	15,835,439
収入の部合計	67,109,115	支出の部合計	67,109,115

貸　借　対　照　表

平成 27 年 3 月 31 日　　（単位：千円）

資　産　の　部		負　債　の　部	
科　　目	本年度末	科　　目	本年度末
固定資産	74,258,281	固定負債	9,423,028
有形固定資産	53,694,791	退職給与引当金	8,842,966
土地	9,685,048	長期未払金	580,062
建物	29,778,014	流動負債	5,053,872
構築物	1,048,517	未払金	2,898,512
教育研究用機器備品	8,966,253	業者未払金	1,964,778
その他の機器備品	131,663	その他の未払金	933,734
図書	2,915,244	前受金	1,554,119
車輌	17,141	授業料	552,047
建設仮勘定	1,152,911	入学金	291,350
その他の固定資産	20,563,490	実験実習費	75,545
電話加入権	6,772	教育充実費	423,600
保証金・預託金	1,969	施設整備費	190,100
有価証券	51,540	その他の前受金	21,477
施設利用権	7,042	預り金	601,241
奨学金	2,400	源泉徴収所得税	50,059
ソフトウェア	5,211	県市町村民税	98,399
施設拡充引当特定資産	14,416,944	私学共済掛金	118,723
退職給与引当特定資産	5,670,000	その他の預り金	334,060
第 3 号基本金引当資産	401,612	負債の部合計	14,476,900
流動資産	24,518,561	基本金および消費収支差額の部	
現金預金	15,835,439	基本金	105,675,883
未収入金	8,038,813	翌年度繰越消費支出超過額	△ 21,375,941
貯蔵品	453,313	基本金および消費支出差額の部合計	84,299,942
前払金	173,049		
仮払金	17,947		
資　産　の　部　合　計	98,776,842	負債・基本金・消費収支差額の部合計	98,776,842

注記　・　退職給与引当金の額の算定は、次のとおりです。

期末要支給額 13, 420, 060, 562 円の 100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上しています。

なお、「退職給与引当金の計上等に係る会計方針の統一について」（平成 23 年 2 月 17 日付け 22 高私参第 11 号文部科学省高等教育局私学部参事官通知）に基づく変更時差異 8, 174, 360, 323 円については、平成 23 年度から毎年度均等に繰り入れています（平成 32 年度までの 10 年間）。

・　減価償却額の累計額の合計額　　34, 835, 850, 213 円

・　翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額　　558, 841, 726 円

医療収入内訳

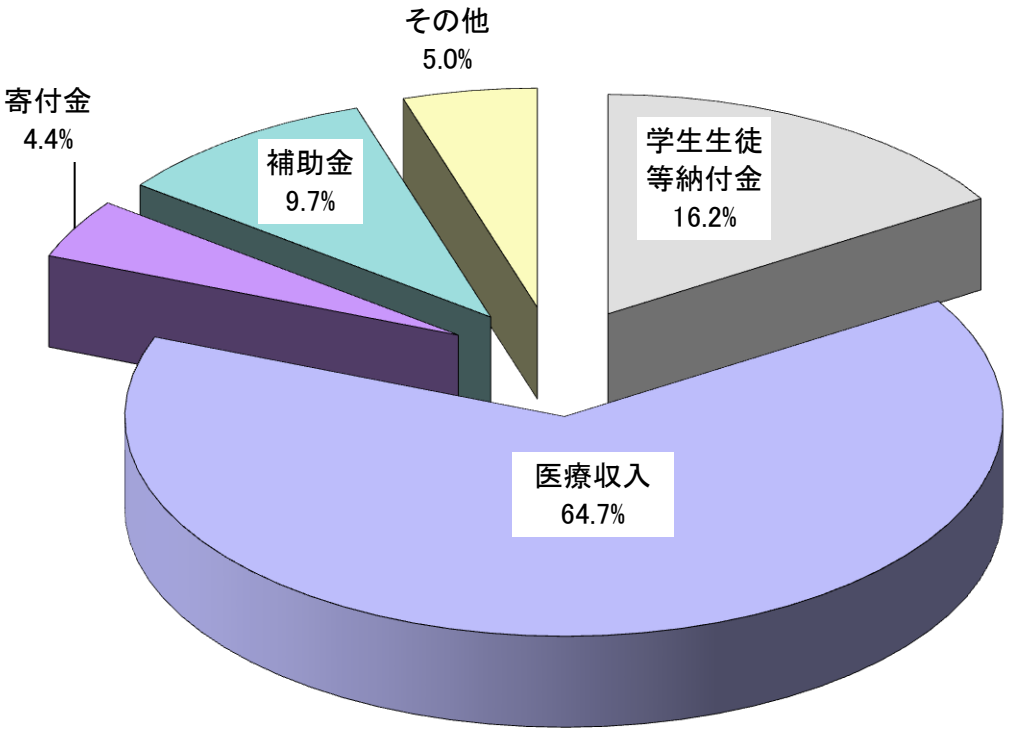
項目			平成25年度決算	平成26年度決算
附属病院(医科)	入院収入	1日平均患者数	733 人	714 人
		1人1日平均	60,001 円	62,762 円
		金額	16,061,184 千円	16,357,655 千円
		増減率	―	1.9 %
	外来収入	1日平均患者数	1,503 人	1,471 人
		1人1日平均	17,518 円	18,980 円
		金額	7,006,060 千円	7,455,905 千円
		増減率	―	6.4 %
歯科医療センター	入院収入	1日平均患者数	26 人	25 人
		1人1日平均	41,668 円	41,167 円
		金額	394,010 千円	381,902 千円
		増減率	―	△3.1 %
	外来収入	1日平均患者数	428 人	422 人
		1人1日平均	6,992 円	7,063 円
		金額	796,149 千円	796,584 千円
		増減率	―	0.1 %
循環器医療センター	入院収入	1日平均患者数	103 人	103 人
		1人1日平均	117,394 円	121,971 円
		金額	4,427,862 千円	4,567,207 千円
		増減率	―	3.2 %
	外来収入	1日平均患者数	66 人	68 人
		1人1日平均	14,992 円	15,159 円
		金額	262,052 千円	274,234 千円
		増減率	―	4.7 %
高度救命救急センター	入院収入	1日平均患者数	49 人	52 人
		1人1日平均	59,150 円	63,729 円
		金額	1,060,558 千円	1,212,119 千円
		増減率	―	14.3 %
	外来収入	1日平均患者数	13 人	14 人
		1人1日平均	20,498 円	20,248 円
		金額	71,455 千円	74,835 千円
		増減率	―	4.7 %
花巻温泉病院	入院収入	1日平均患者数	119 人	111 人
		1人1日平均	26,204 円	26,801 円
		金額	1,139,468 千円	1,090,391 千円
		増減率	―	△4.3 %
	外来収入	1日平均患者数	136 人	124 人
		1人1日平均	9,244 円	9,163 円
		金額	334,621 千円	304,114 千円
		増減率	―	△9.1 %
PET・リニアック先端医療センター	外来収入	1日平均患者数	30 人	27 人
		1人1日平均	44,873 円	47,499 円
		金額	363,922 千円	346,458 千円
		増減率	―	△4.8 %
医療収入合計			31,917,341 千円	32,861,404 千円
その他の医療収入			273,676 千円	279,229 千円
総合計			32,191,017 千円	33,140,633 千円

注１）各病院の入院患者数は在院患者数（２４時現在の患者数）に退院患者数を加算した延べ患者数です。

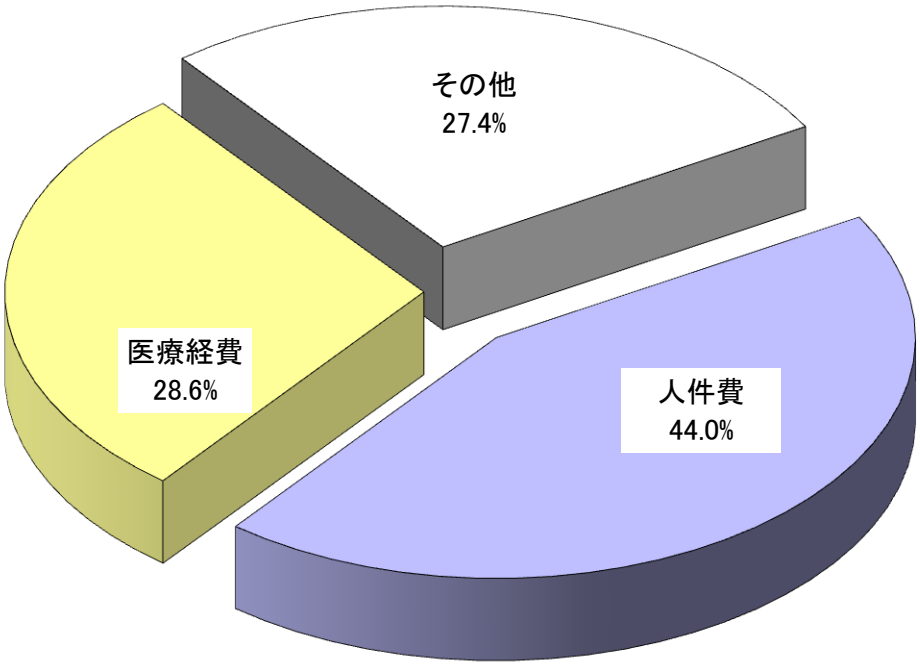
注２）一人一日平均診療単価は審査過誤減削減後の診療単価です。

平成26年度　決算構成比率

［帰属収入の部］



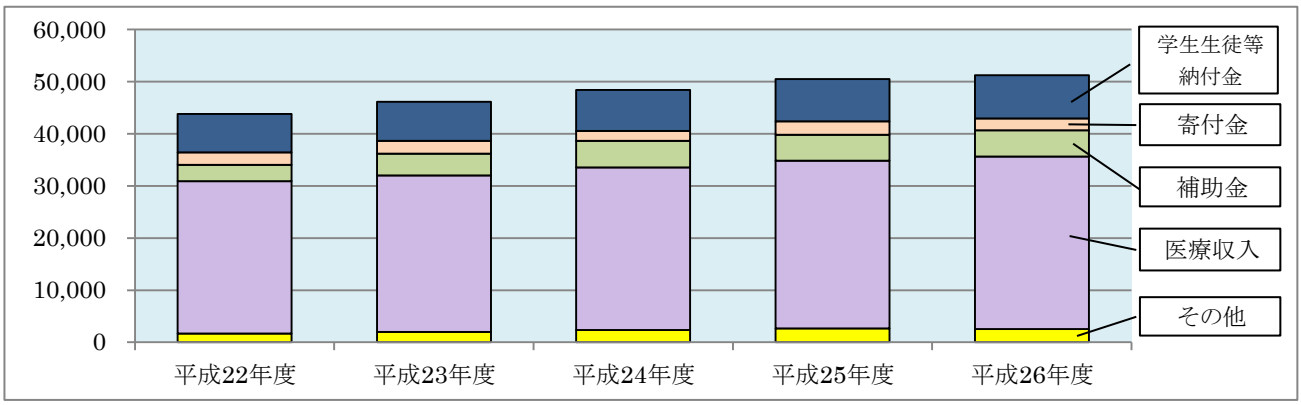
［消費支出の部］



３．経年比較

（１）消費収支決算の推移

①帰属収入の推移　　（単位：百万円）



〈消費収入の部〉　　（単位：百万円）

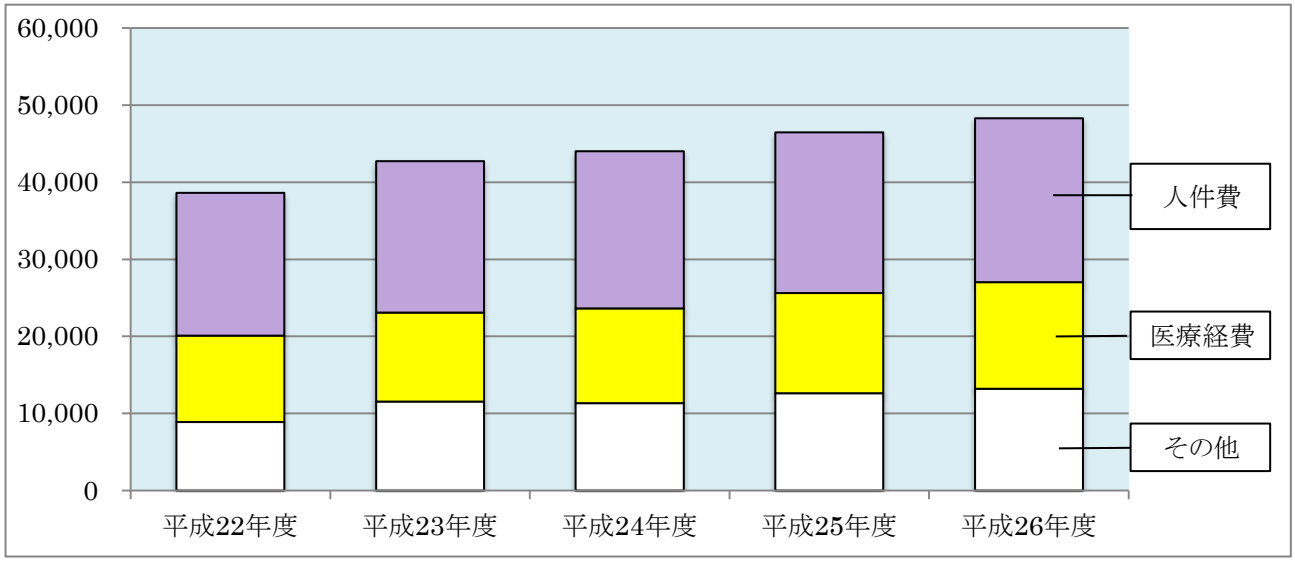
科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学生生徒等納付金	7,361	7,540	7,862	8,141	8,292
手数料	182	187	177	226	250
寄付金	2,404	2,459	1,918	2,576	2,248
補助金	3,131	4,154	5,091	4,952	5,005
国庫補助金	2,135	2,974	3,370	3,635	3,462
地方公共団体補助金	996	1,176	1,716	1,316	1,542
その他補助金	0	3	3	0	1
資産運用収入	239	175	196	213	224
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	621	744	1,149	1,459	1,356
医療収入	29,230	30,040	31,237	32,191	33,141
雑収入	659	875	805	756	701
帰属収入合計	43,833	46,177	48,438	50,516	51,216
基本金組入額合計	△ 6,775	△ 7,402	△ 6,173	△ 5,970	△ 5,063
消費収入の部合計	37,057	38,775	42,265	44,546	46,153

※百万円未満切捨てのため、合計が計算上一致しない場合があります。次ページ以降同様となります。

【構成比率】

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学生生徒等納付金	16.8%	16.3%	16.2%	16.1%	16.2%
手数料	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%
寄付金	5.5%	5.3%	4.0%	5.1%	4.4%
補助金	7.1%	9.0%	10.5%	9.8%	9.7%
国庫補助金	4.9%	6.4%	7.0%	7.2%	6.7%
地方公共団体補助金	2.2%	2.6%	3.5%	2.6%	3.0%
その他補助金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資産運用収入	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
資産売却差額	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業収入	1.4%	1.6%	2.4%	2.9%	2.7%
医療収入	66.7%	65.1%	64.5%	63.7%	64.7%
雑収入	1.5%	1.9%	1.6%	1.5%	1.4%
帰属収入合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②消費支出の推移　（単位：百万円）



〈消費支出の部〉　（単位：百万円）

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	18,550	19,620	20,398	20,853	21,269
教育研究経費	18,446	21,097	21,632	23,403	24,498
医療経費	11,218	11,571	12,285	13,004	13,824
一般教育研究経費	7,228	9,526	9,347	10,399	10,674
管理経費	1,569	1,830	1,818	2,030	2,229
資産処分差額	44	141	156	149	289
徴収不能額	26	28	21	26	31
消費支出の部合計	38,638	42,718	44,028	46,463	48,316
当年度消費支出超過額	1,581	3,943	1,762	1,917	2,163
当年度消費収入超過額					
前年度繰越消費支出超過額	10,008	11,589	15,532	17,295	19,213
翌年度繰越消費支出超過額	11,589	15,532	17,295	19,212	21,376

【構成比率】

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	48.0%	45.9%	46.3%	44.9%	44.0%
教育研究経費	47.7%	49.4%	49.1%	50.4%	50.7%
医療経費	29.0%	27.1%	27.9%	28.0%	28.6%
一般教育研究経費	18.7%	22.3%	21.2%	22.4%	22.1%
管理経費	4.1%	4.3%	4.2%	4.4%	4.6%
資産処分差額	0.1%	0.3%	0.4%	0.3%	0.6%
徴収不能額	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
消費支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（２）資金収支決算の推移

①収入の推移　（単位：百万円）

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学生生徒等納付金収入	7,361	7,540	7,862	8,141	8,292
手数料収入	182	187	177	226	250
寄付金収入	2,213	2,142	1,795	2,466	2,166
補助金収入	3,131	4,154	5,091	4,952	5,005
国庫補助金収入	2,135	2,974	3,370	3,635	3,462
地方公共団体補助金収入	996	1,176	1,716	1,316	1,542
その他補助金収入	0	3	3	0	1
資産運用収入	239	175	196	213	224
資産売却収入	500	0	0	0	300
事業収入	621	744	1,149	1,459	1,356
医療収入	29,230	30,040	31,237	32,191	33,141
雑収入	659	875	805	756	701
前受金収入	1,365	1,322	1,497	1,555	1,554
その他の収入	15,245	6,793	8,559	10,328	8,934
資金収入調整勘定	△ 7,400	△ 8,552	△ 9,530	△ 8,970	△ 9,594
前年度繰越支払資金	15,216	14,484	12,615	12,989	14,780
収入の部合計	68,568	59,909	61,458	66,309	67,109

【構成比率（収入の部）】

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
学生生徒等納付金収入	10.8%	12.6%	12.8%	12.3%	12.4%
手数料収入	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%
寄付金収入	3.2%	3.6%	2.9%	3.7%	3.2%
補助金収入	4.6%	6.9%	8.3%	7.5%	7.5%
国庫補助金収入	3.1%	5.0%	5.5%	5.5%	5.2%
地方公共団体補助金収入	1.5%	1.9%	2.8%	2.0%	2.3%
その他補助金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資産運用収入	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
資産売却収入	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
事業収入	0.9%	1.2%	1.9%	2.2%	2.0%
医療収入	42.6%	50.2%	50.9%	48.6%	49.4%
雑収入	1.0%	1.5%	1.3%	1.1%	1.0%
前受金収入	2.0%	2.2%	2.4%	2.3%	2.3%
その他の収入	22.2%	11.3%	13.9%	15.6%	13.3%
資金収入調整勘定	△ 10.8%	△ 14.3%	△ 15.5%	△ 13.5%	△ 14.3%
前年度繰越支払資金	22.2%	24.2%	20.5%	19.6%	22.0%
収入の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②支出の推移　（単位：百万円）

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費支出	18,533	19,062	19,553	20,220	20,356
教育研究経費支出	16,203	17,618	18,421	20,243	20,729
医療経費支出	11,436	11,451	12,298	13,424	13,568
一般教育研究経費支出	4,767	6,167	6,122	6,818	7,161
管理経費支出	1,494	1,741	1,731	1,915	2,087
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	1	0	0
施設関係支出	13,123	1,145	2,259	489	932
設備関係支出	3,275	2,822	1,829	2,509	1,358
資産運用支出	3,200	4,500	4,501	4,500	4,502
その他の支出	2,947	5,201	5,352	5,746	4,706
予備費	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 4,695	△ 4,799	△ 5,181	△ 4,096	△ 3,397
次年度繰越支払資金	14,484	12,615	12,989	14,779	15,835
支出の部合計	68,568	59,909	61,458	66,309	67,109

【構成比率（支出の部）】

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費支出	27.0%	31.8%	31.8%	30.5%	30.3%
教育研究経費支出	23.7%	29.4%	30.0%	30.5%	30.9%
医療経費支出	16.7%	19.0%	20.0%	20.2%	20.2%
一般教育研究経費支出	7.0%	10.4%	10.0%	10.3%	10.7%
管理経費支出	2.2%	2.9%	2.8%	2.9%	3.1%
借入金等利息支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
借入金等返済支出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
施設関係支出	19.1%	1.9%	3.7%	0.7%	1.4%
設備関係支出	4.8%	4.7%	3.0%	3.8%	2.0%
資産運用支出	4.7%	7.5%	7.3%	6.8%	6.7%
その他の支出	4.3%	8.7%	8.7%	8.7%	7.0%
予備費	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資金支出調整勘定	△ 6.8%	△ 8.0%	△ 8.4%	△ 6.2%	△ 5.0%
次年度繰越支払資金	21.1%	21.1%	21.1%	22.3%	23.6%
支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（３）貸借対照表の推移

①資産の推移　（単位：百万円）

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
固定資産	61,008	65,841	70,243	72,484	74,258
有形固定資産	54,848	55,539	56,288	55,560	53,695
土地	9,719	9,849	9,849	9,849	9,685
建物	31,600	31,060	31,989	31,072	29,778
その他の有形固定資産	13,527	14,628	14,449	14,638	14,232
その他の固定資産	6,160	10,301	13,955	16,924	20,563
流動資産	20,882	20,143	21,566	23,096	24,518
現金預金	14,484	12,615	12,989	14,779	15,835
その他の流動資産	6,395	7,525	8,576	8,316	8,683
資産の部合計	81,890	85,984	91,809	95,581	98,776

②負債の推移　（単位：百万円）

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
固定負債	5,895	6,453	7,864	8,504	9,423
長期借入金	0	0	0	0	0
その他の固定負債	5,895	6,453	7,864	8,504	9,423
流動負債	6,517	6,595	6,598	5,676	5,054
短期借入金	0	0	0	0	0
その他の流動負債	6,517	6,595	6,598	5,676	5,054
負債の部合計	12,412	13,048	14,462	14,181	14,477

③基本金の推移　（単位：百万円）

科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
第1号基本金	77,847	81,110	83,624	86,618	88,037
第2号基本金	0	4,138	7,798	10,773	14,417
第3号基本金	399	399	399	400	402
第4号基本金	2,820	2,820	2,820	2,820	2,820
基本金の部合計	81,066	88,469	94,642	100,612	105,676

④消費収支差額の推移　（単位：百万円）

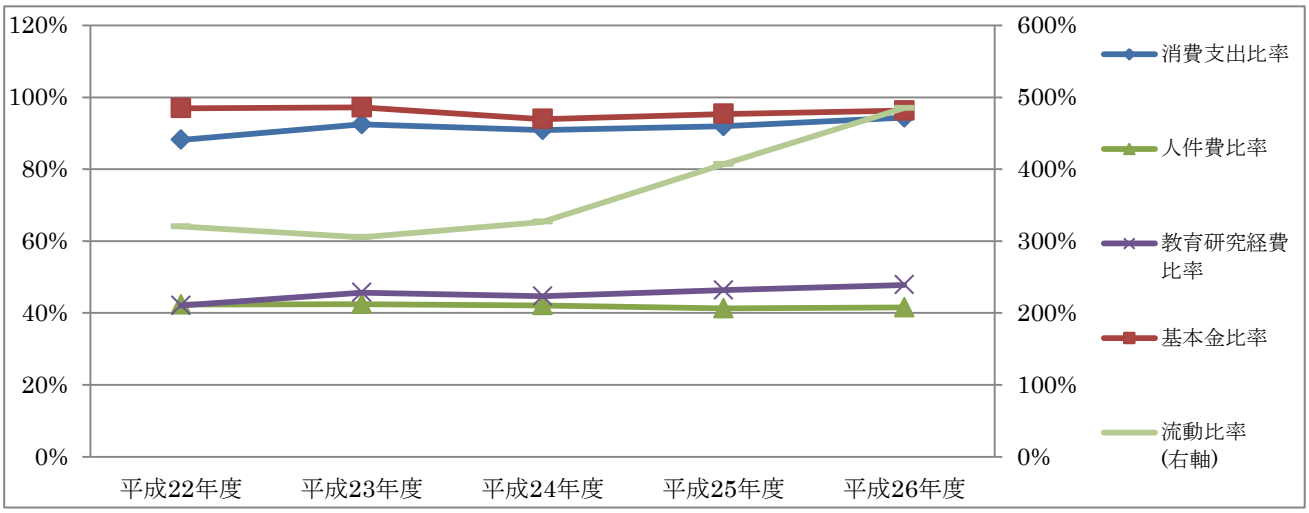
科　　目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
前年度繰越消費支出超過額	10,008	11,589	15,532	17,295	19,212
翌年度繰越消費支出超過額	11,589	15,532	17,295	19,212	21,376
消費収支差額の部合計	△ 11,589	△ 15,532	△ 17,295	△ 19,212	△ 21,376
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	81,889	85,986	91,809	95,581	98,777

⑤自己資金の推移　（単位：百万円）

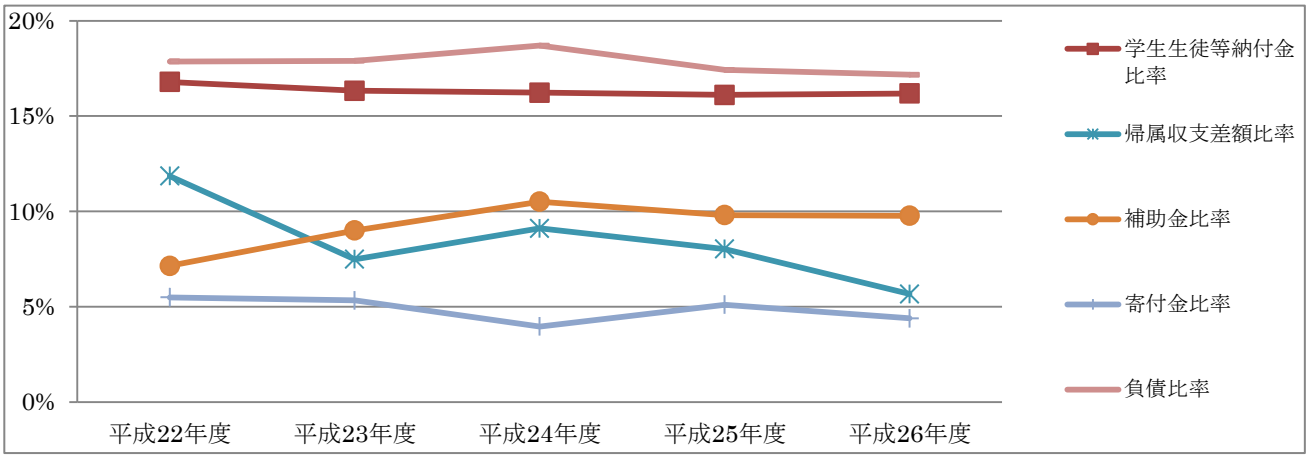
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
自己資金（基本金＋消費収支差額）	69,477	72,937	77,347	81,400	84,300

（４）主要財務比率の推移

【グラフＡ】



【グラフＢ】



		主要財務比率	計算式	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
グラフA	1	消費支出比率	消費支出 / 帰属収入	88.1%	92.5%	90.9%	92.0%	94.3%
	2	人件費比率	人件費 / 帰属収入	42.3%	42.5%	42.1%	41.3%	41.5%
	3	教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	42.1%	45.7%	44.7%	46.3%	47.8%
	4	基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	97.0%	97.2%	94.0%	95.4%	96.3%
	5	流動比率	流動資産 / 流動負債	320.4%	305.4%	326.8%	406.9%	485.1%
グラフB	6	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 帰属収入	16.8%	16.3%	16.2%	16.1%	16.2%
	7	帰属収支差額比率	帰属収支差額 / 帰属収入	11.9%	7.5%	9.1%	8.0%	5.7%
	8	補助金比率	補助金 / 帰属収入	7.1%	9.0%	10.5%	9.8%	9.8%
	9	寄付金比率	寄付金 / 帰属収入	5.5%	5.3%	4.0%	5.1%	4.4%
	10	負債比率	総負債 / 自己資金	17.9%	17.9%	18.7%	17.4%	17.2%

Iwate Medical University 岩手医科大学

〒020-8505　岩手県盛岡市内丸 19-1
TEL：019-651-5111（代表）
http：www.iwate-med.ac.jp
発行：平成 27 年 5 月 25 日　企画部企画調整課